

2024年 2月 9日 (金)

サトーホールディングス株式会社

2024年3月期 第3四半期 決算説明資料

証券コード : 6287

事業別商品概要

連結売上高:142,824百万円 (2022年度) 100%

連結売上高の85% (地域別売上高構成比: 日本 61%、米州 14%、欧州 10%、アジア・オセアニア 15%)

自動認識ソリューション事業 (日本・海外)

ベース

38%

メカトロ	<p>プリンタ</p> 	<p>ハンドラベラー、 その他ハード</p> 	<p>ソフトウェア</p> 	<p>保守サポート</p> 
------	--	--	---	---

サプライ

47%

ラベル・タグ




仁ざり薬司	
名称	青標 (医薬品使用)、きくら加工
原料料名	きくら、落花生、落花生心粉、 調味料、(一部に小麦、大豆、 いくら、きばきき)
内容量	1包
保存方法	10℃以下で保存
消費期限	23.02.21
加工日	23.02.20 午後10:00
製造者	サトー株式会社 (株)
販売代理店	サトー株式会社
TEL	0120-300310
定価	¥798
税別	700円
送料	別途
税別	700円
送料	別途



プライマリー

15% (地域別売上高構成比: 米州 15%、欧州 85%)

シール (プライマリーラベル)





※ 日本地域のシール (プライマリーラベル) は売上に占める割合が小さいことと、同一子会社で事業を行っているため、サプライに含まれています

今回の決算のポイント

■ Q3（10～12月）実績

- 前年同期比は、連結で売上高横ばい・増益。
営業利益は海外事業（除くロシア）の増益が、ロシア子会社と日本事業の減益を吸収
 - ✓ 海外事業（除くロシア）：増収・増益、ロシア子会社：減収・減益、日本事業：増収・減益
- 計画比[※]の営業利益は、全地域で上振れ
 - ✓ 日本は価格改定は進展も、計画比では遅滞。輸出粗利と販管費コントロールで計画以上

■ Q4・通期の見通し

- 連結：通期の営業利益予想を上方修正
 - ✓ 海外事業（除くロシア）：Q3実績を踏まえ、上方修正
 - ✓ ロシア子会社：計画を維持
 - ✓ 日本事業：計画を維持。Q4も価格改定遅滞が継続も、Q3の上振れ、想定比小幅なコストアップで吸収

事業セグメント別売上高及び営業利益

(単位：百万円)

※表内下段の () 内数値：ロシア子会社を除外

		FY2023	FY2022	前年比		
		Q3	Q3		除く為替	
自動認識 ソリューション事業	売上高	37,628 (33,433)	37,871 (32,588)	-0.6% (+2.6%)	+4.2% (+2.8%)	
	営業利益	3,417 (2,654)	3,746 (2,361)	-8.8% (+12.4%)	+11.2% (+29.3%)	
	海外	売上高	17,648 (13,453)	18,626 (13,343)	-5.3% (+0.8%)	+4.7% (+1.2%)
		営業利益	2,490 (1,727)	2,637 (1,252)	-5.6% (+37.9%)	+23.6% (+71.6%)
	日本	売上高	19,980	19,244	+3.8%	+3.8%
		営業利益	927	1,108	-16.4%	-18.4%
連結 (消去後)	売上高	37,628 (33,433)	37,871 (32,588)	-0.6% (+2.6%)	+4.2% (+2.8%)	
	営業利益	3,467 (2,704)	3,304 (1,919)	+4.9% (+40.9%)	+27.5% (+61.7%)	

業績

(単位：百万円)

	FY2023	FY2022	増減	前年比
	Q3	Q3		
売上高	37,628 (33,433)	37,871 (32,588)	-242 (+844)	-0.6% (+2.6%)
営業利益	3,467 (2,704)	3,304 (1,919)	+162 (+784)	+4.9% (+40.9%)
営業利益率	9.2% (8.1%)	8.7% (5.9%)	+0.5pt (+2.2pt)	- -
経常利益	3,459 (2,777)	2,708 (1,752)	+751 (+1,025)	+27.8% (+58.5%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,814 (+2,385)	1,887 (1,230)	+927 (+1,155)	+49.1% (+94.0%)
実効税率	13.9%	20.9%	-7.0pt	-
EBITDA [※]	4,724 (3,838)	4,599 (3,034)	+125 (+804)	+2.7% (+26.5%)

FY23 Q3累計 為替レート (期中平均) : 143.32円/USD, 155.32円/EUR (FY22 Q3累計 同為替レート : 136.49円/USD, 140.60円/EUR)
 為替感応度 : すべての通貨が1円/USDの円安に連動した場合、売上高+504百万円、営業利益+30百万円 (FY23通期ベース)

※ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

・減価償却 FY23 Q3 : 1,221百万円 (1,097百万円)

・のれん償却 FY23 Q3 : 36百万円 (36百万円)

FY22 Q3 : 1,213百万円 (1,034百万円)

FY22 Q3 : 80百万円 (80百万円)

総括

Q3
10~12月

ベース事業：売上高は横ばい、営業利益は微増

プライマリー專業：米州が好調。ロシアにおいて販売好調も現地通貨安で減収。期初想定どおり同業他社の供給網回復により、競争環境が正常化して減益

(単位：百万円)

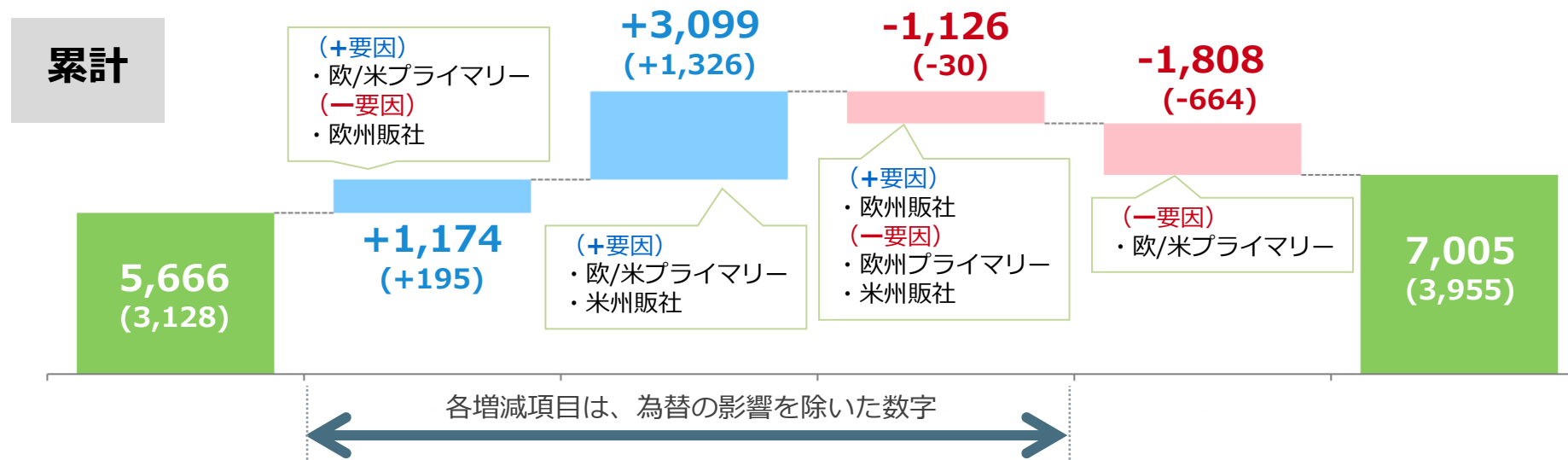
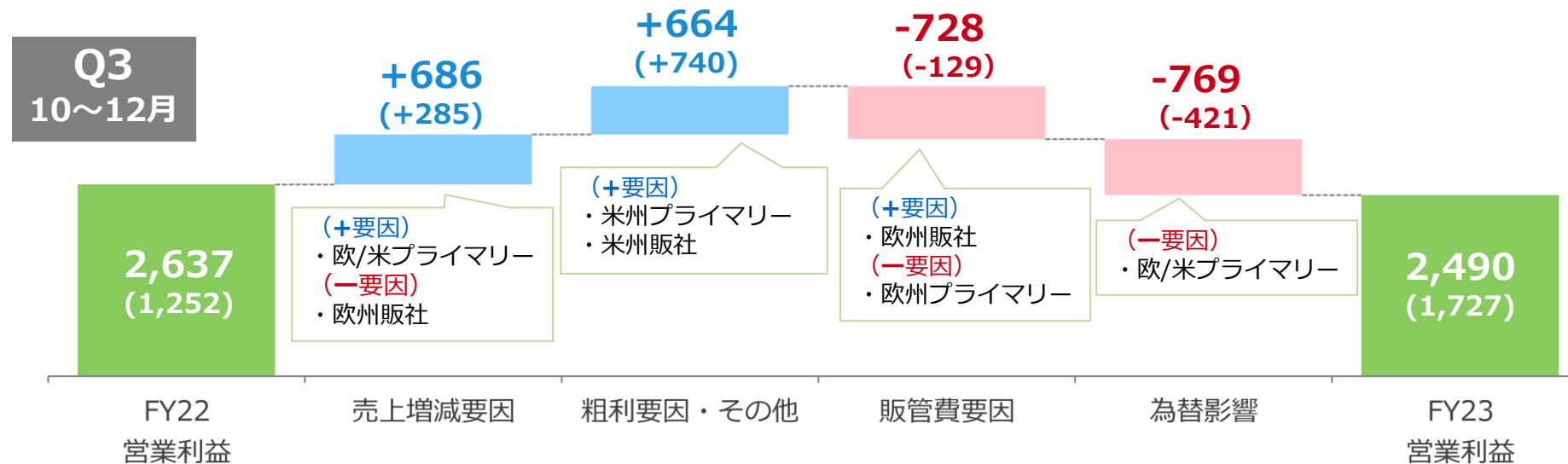
	FY2023	FY2022	増減	増減	
	Q3	Q3		前年比	除く為替
売上高	17,648 (13,453)	18,626 (13,343)	-978 (+109)	-5.3% (+0.8%)	+4.7% (+1.2%)
粗利額	7,605 (5,915)	7,343 (5,250)	+262 (+665)	+3.6% (+12.7%)	-
粗利率（外売）	43.1% (44.0%)	39.4% (39.3%)	+3.7pt (+4.6pt)	-	-
営業利益	2,490 (1,727)	2,637 (1,252)	-147 (+474)	-5.6% (+37.9%)	+23.6% (+71.6%)
営業利益率	14.1% (12.8%)	14.2% (9.4%)	-0.1pt (+3.5pt)	-	-

	FY2023	FY2022	増減	増減	
	累計	累計		前年比	除く為替
売上高	51,205 (38,981)	53,504 (39,578)	-2,298 (-597)	-4.3% (-1.5%)	+3.7% (-2.2%)
粗利額	21,413 (16,235)	19,493 (15,126)	+1,919 (+1,109)	+9.8% (+7.3%)	-
粗利率（外売）	41.8% (41.7%)	36.4% (38.2%)	+5.4pt (+3.4pt)	-	-
営業利益	7,005 (3,955)	5,666 (3,128)	+1,338 (+827)	+23.6% (+26.4%)	+55.5% (+47.7%)
営業利益率	13.7% (10.1%)	10.6% (7.9%)	+3.1pt (+2.2pt)	-	-

※表内下段の（）内数値：ロシア子会社を除外

営業利益 前年との比較

（単位：百万円）



米州

Q3
10~12月

ベース事業：米国で前年同期のプリンタ特需の反動や、景気後退による代理店のプリンタ在庫調整影響を受けて減収。
ラベル工場での生産性向上施策などで粗利率改善も、減収影響をカバーしきれず減益

プライマリー専業：堅調な需要と継続的な価格改定により増収・増益

(単位：百万円)

		FY2023	FY2022	増減		
		Q3	Q3		%	除く為替
ベース事業	売上高	4,293	4,626	-333	-7.2%	-6.8%
	営業利益	352	405	-53	-13.1%	+2.9%
プライマリー専業 ・ Achernar社 ・ Prakolar社	売上高	954	769	+185	+24.2%	+91.2%
	営業利益	414	87	+326	4.7倍	9.5倍
合計	売上高	5,248	5,395	-147	-2.7%	+7.2%
	営業利益	766	493	+273	+55.4%	2.5倍

		FY2023	FY2022	増減		
		累計	累計		%	除く為替
ベース事業	売上高	13,059	13,535	-476	-3.5%	-5.0%
	営業利益	630	902	-272	-30.2%	-14.6%
プライマリー専業 ・ Achernar社 ・ Prakolar社	売上高	2,764	2,396	+368	+15.4%	+63.5%
	営業利益	836	296	+540	2.8倍	5.2倍
合計	売上高	15,824	15,932	-108	-0.7%	+5.3%
	営業利益	1,467	1,199	+267	+22.3%	+93.5%

欧州

Q3
10~12月

ベース事業：前年同期の大口案件の反動、景気後退による商談延期などにより減収。代理店向け販売は回復傾向。
低粗利案件の剥落、輸送費減少などが減収影響を吸収して増益

プライマリー專業：販売好調も現地通貨安で減収。同業他社の供給網回復により、競争環境が正常化して減益
(単位：百万円)

		FY2023	FY2022	増減	%	除く為替
		Q3	Q3			
ベース事業	売上高	3,008	3,149	-140	-4.5%	-13.6%
	営業利益	219	196	+22	+11.2%	+0.1%
プライマリー專業 (ロシア子会社) ・ Okil社 ・ X-Pack社	売上高	4,195 (0)	5,282 (0)	-1,087 (0)	-20.6%	+13.3%
	営業利益	717 (-44)	1,311 (-74)	-593 (+29)	-45.3%	-20.2%
合計	売上高	7,204 (3,008)	8,431 (3,149)	-1,227 (-140)	-14.6% (-4.5%)	+3.3% (-13.6%)
	営業利益	936 (174)	1,508 (122)	-571 (+51)	-37.9% (+41.8%)	-17.5% (+8.0%)

		FY2023	FY2022	増減	%	除く為替
		累計	累計			
ベース事業	売上高	8,713	9,612	-898	-9.3%	-17.9%
	営業利益	814	571	+242	+42.4%	+29.4%
プライマリー專業 (ロシア子会社) ・ Okil社 ・ X-Pack社	売上高	12,224 (0)	13,926 (0)	-1,701 (0)	-12.2%	+20.7%
	営業利益	2,907 (-142)	2,322 (-216)	+585 (+73)	+25.2%	+72.2%
合計	売上高	20,938 (8,713)	23,538 (9,612)	-2,600 (-898)	-11.0% (-9.3%)	+4.9% (-17.9%)
	営業利益	3,722 (671)	2,893 (355)	+828 (+316)	+28.6% (+89.1%)	+63.7% (+53.1%)

※表内下段の () 内数値：ロシア子会社を除外

アジア・オセアニア

Q3
10~12月

ベース事業：代理店政策の改善や既存顧客の深耕が寄与し、台湾Argoxやオーストラリアなど、過半の子会社が底堅く推移して増収・増益

(単位：百万円)

		FY2023 Q3	FY2022 Q3	増減	前年比	除く為替
ベース事業	売上高	5,196	4,799			
	営業利益	774	736	+37	+5.1%	+2.0%

		FY2023 累計	FY2022 累計	増減	前年比	除く為替
ベース事業	売上高	14,443	14,033			
	営業利益	1,598	1,713	-114	-6.7%	-10.3%

総括

Q3
10~12月

売上はサプライ商品の価格改定効果やRFIDソリューションがけん引して増収。
増収効果や販管費の計画比コントロールも、前年特需起因のプリンタ輸出減少をカバーしきれず減益

（単位：百万円）

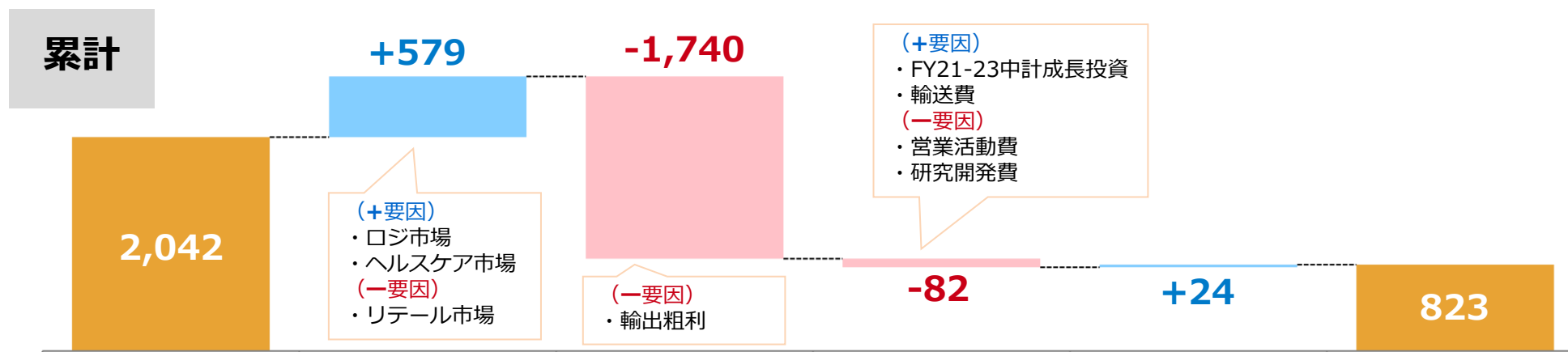
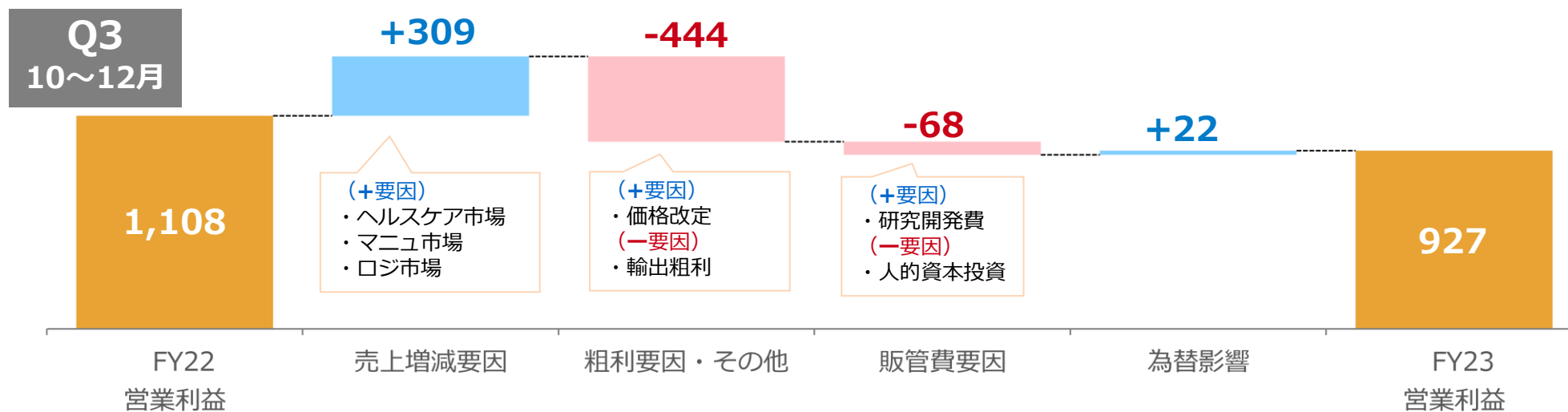
	FY2023	FY2022	増減	
	Q3	Q3		前年比
メカトロ売上高	7,450	7,540	-89	-1.2%
サプライ売上高	12,529	11,703	+825	+7.1%
外部売上高 計	19,980	19,244	+735	+3.8%
粗利額	8,683	8,797	-113	-1.3%
粗利率（外売）	43.5%	45.7%	-2.3pt	-
営業利益	927	1,108	-181	-16.4%
営業利益率	4.6%	5.8%	-1.1pt	-

	FY2023	FY2022	増減	
	累計	累計		前年比
メカトロ売上高	21,224	21,210	+14	+0.1%
サプライ売上高	34,984	33,619	+1,364	+4.1%
外部売上高 計	56,209	54,829	+1,379	+2.5%
粗利額	24,196	25,332	-1,136	-4.5%
粗利率（外売）	43.0%	46.2%	-3.2pt	-
営業利益	823	2,042	-1,218	-59.7%
営業利益率	1.5%	3.7%	-2.3pt	-

メカトロ：プリンタやラベル自動貼付機器、スキャナ、ハンドラベラーなどのハードウェア、ソフトウェア、保守サポートなど
 サプライ：消耗品。可変情報ラベル、RFIDタグ、プライマリーラベル（商品シール）、リボンなど

営業利益 前年との比較

(単位：百万円)



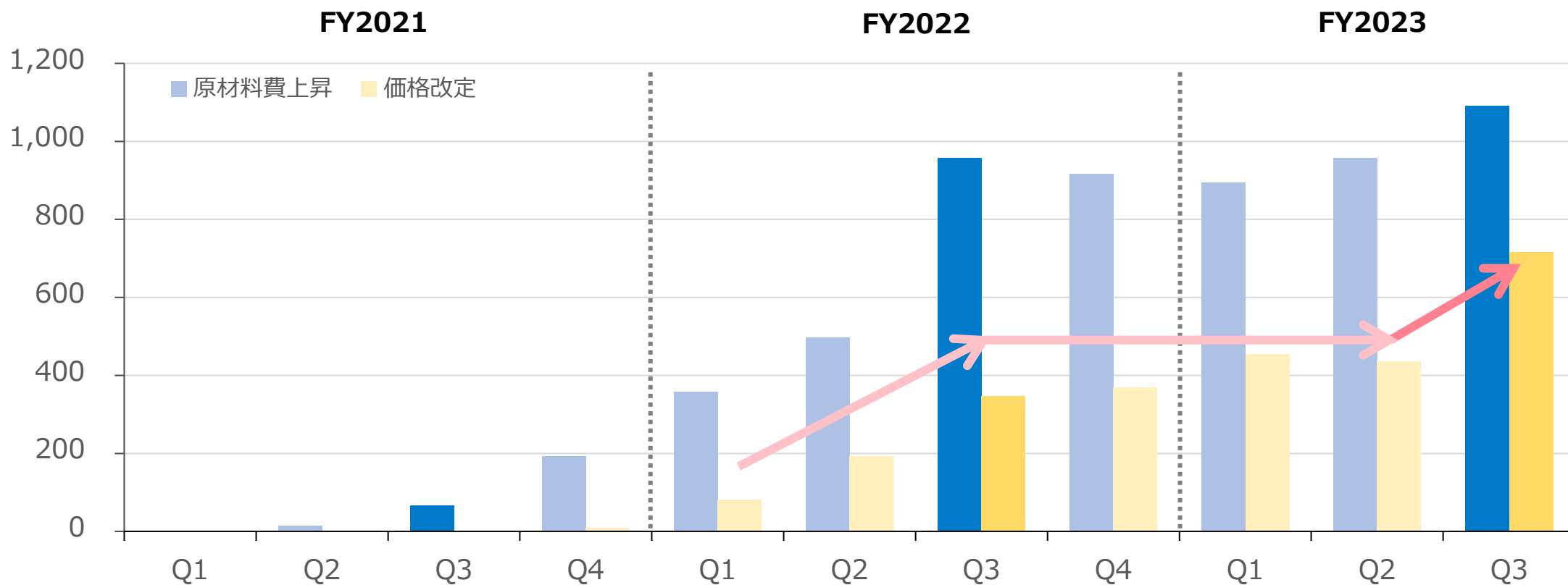
← 各増減項目は、為替の影響を除いた数字 →

原材料費上昇・価格改定 推移

下期に入って価格改定が進展。サプライ商品の組織的対応が寄与。
 11月9日開示計画比で価格改定の効果発現は遅滞も、妥結状況は計画線で推移

(単位：百万円)

原材料費上昇・価格改定 (為替影響を含む、対FY2020の実額)

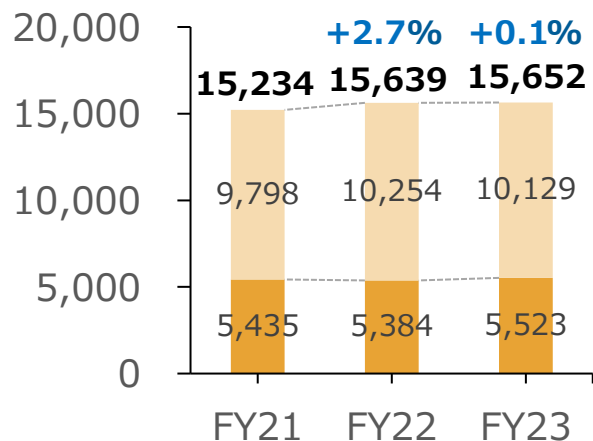


市場別売上高推移

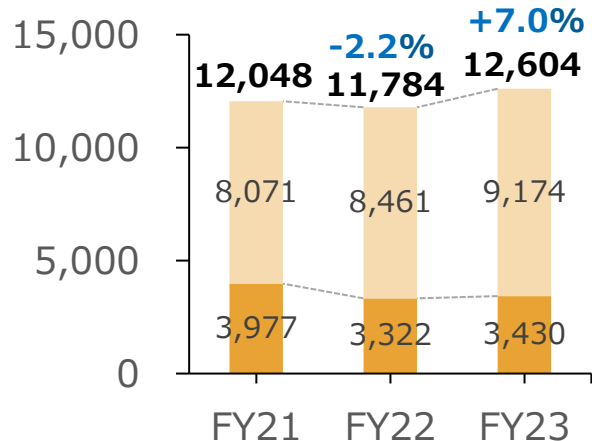
■ : メカトロ ■ : サプライ ※%は前年同期比

(単位：百万円)

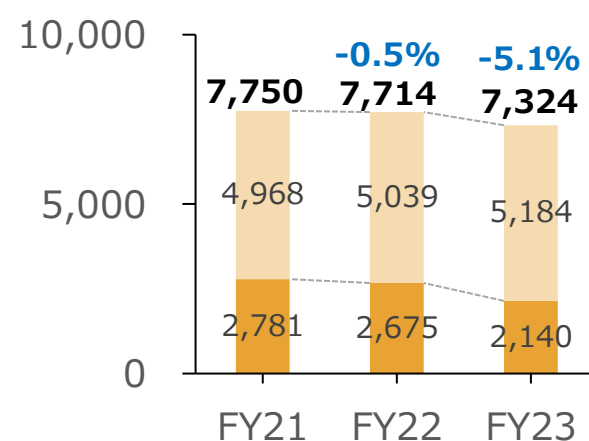
マニュファクチャリング



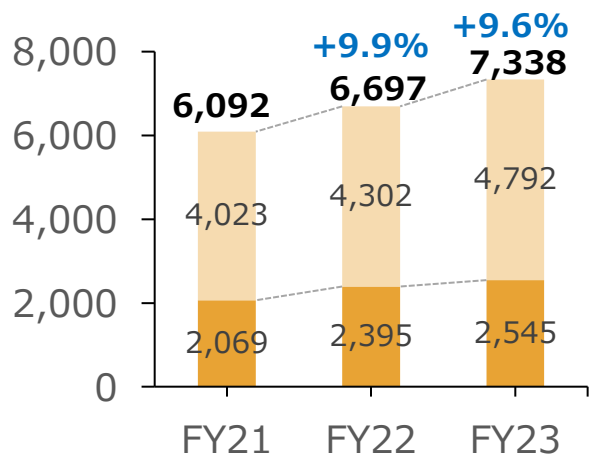
ロジスティクス



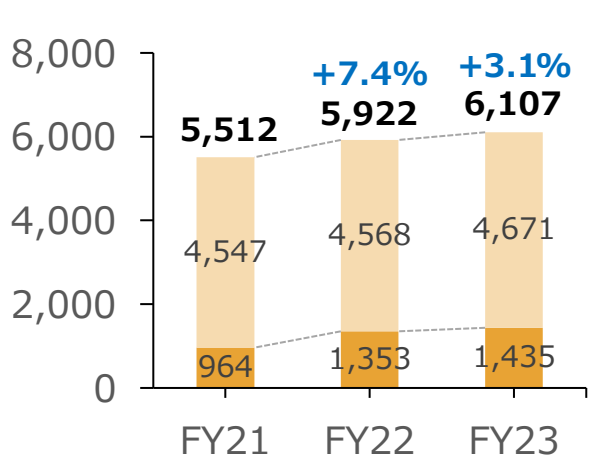
リテール



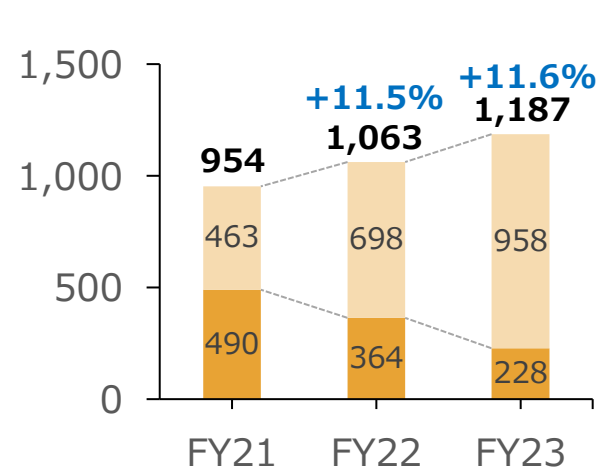
ヘルスケア



フード



公共

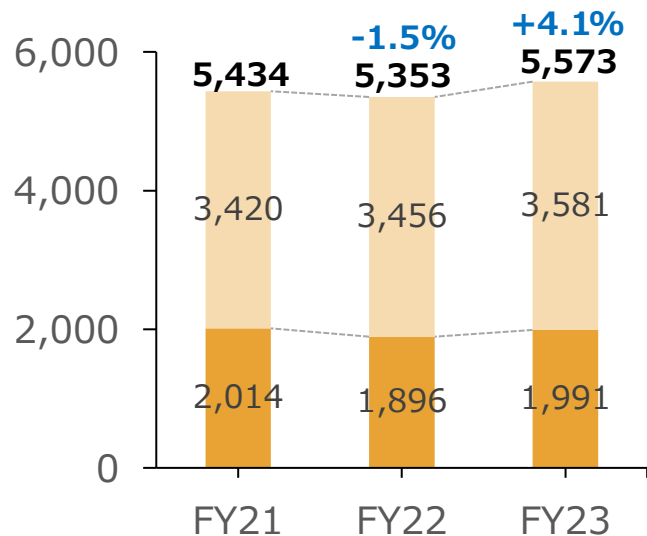


市場別売上高推移 (1/2)

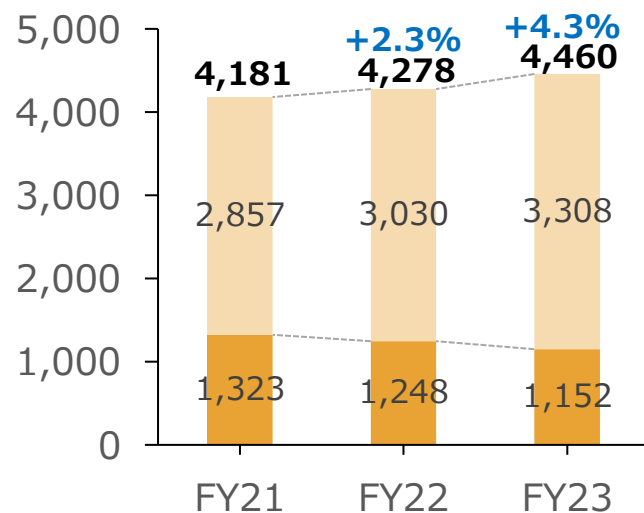
(単位：百万円)

■：メカトロ ■：サプライ ※%は前年同期比

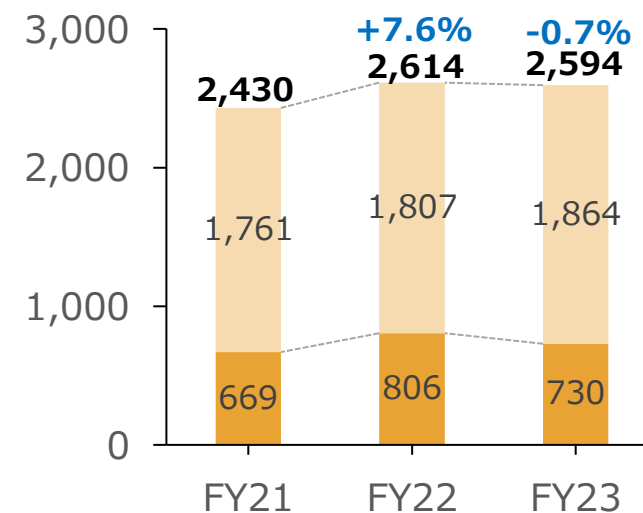
マニュファクチャリング



ロジスティクス



リテール



事業環境

自動車や半導体関連の生産回復で、関連業界で投資意欲が回復。人手不足やDX化を背景に自動化やRFIDへの需要が継続

EC活況継続に加え、インバウンド復調などもあり全般に好調。人手不足やDX化に加え、2024年問題への対応ニーズが増大

食品スーパーでは店舗におけるDX化や効率化などへの投資は継続。EC業界での投資は一服

当社状況

サプライは自動車業界の生産回復を背景に増加。メカトロは半導体関連の在庫調整が一巡して電子部品で回復がみられたことと自動化の大口案件が寄与して増加

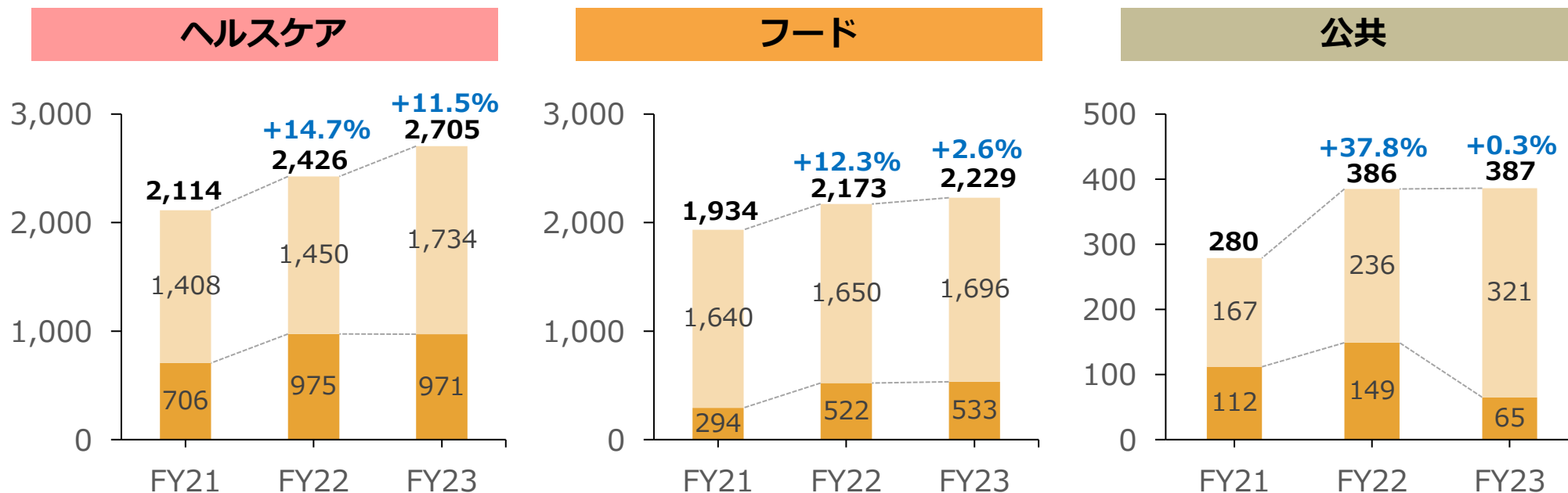
サプライは物量増によりほぼすべての業界で増加。メカトロは自動化案件などが寄与するものの、前年同期の大口案件反動で減少

サプライは商品小売業の回復がけん引して増加。メカトロは前年同期の大口案件反動で減少

市場別売上高推移 (2/2)

(単位：百万円)

■ : メカトロ ■ : サプライ ※%は前年同期比



事業環境

医療機関への外来者数が増加。人手不足等に起因の業務効率化ニーズを背景に、RFIDなどへの投資が継続。全般に需要は好調

自動化やトレーサビリティなどの需要が継続。背景は、原材料高騰に起因のコスト増加や人手不足への対応ニーズ

全般に外部環境は安定

当社状況

サプライは医療機関への外来者数の回復などを背景にほぼすべての業界で増加。メカトロは前年同期の大口案件の反動があったものの、病院での販売回復がカバーして横ばい

サプライ、メカトロともに食品製造業がけん引して増加。メカトロはトレーサビリティの大口案件が寄与

サプライは大口顧客からの受注により大幅に伸長。メカトロは前年同期の大口案件の反動により減少

RFID/自動化ソリューション売上高 推移

Q3
10~12月

人手不足やDX化への対応などを背景に需要は好調。

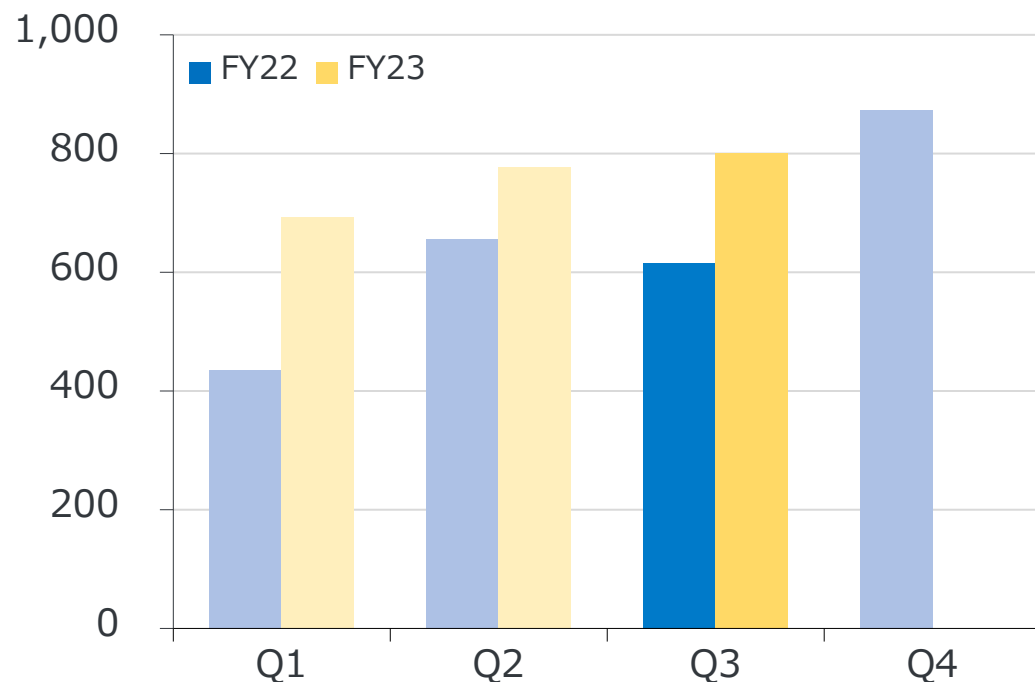
RFIDは、ヘルスケアとマニュ市場で伸長。

自動化は、マニュ市場が伸長も、前年同期の大口案件の反動によりトータル減少

(単位：百万円)

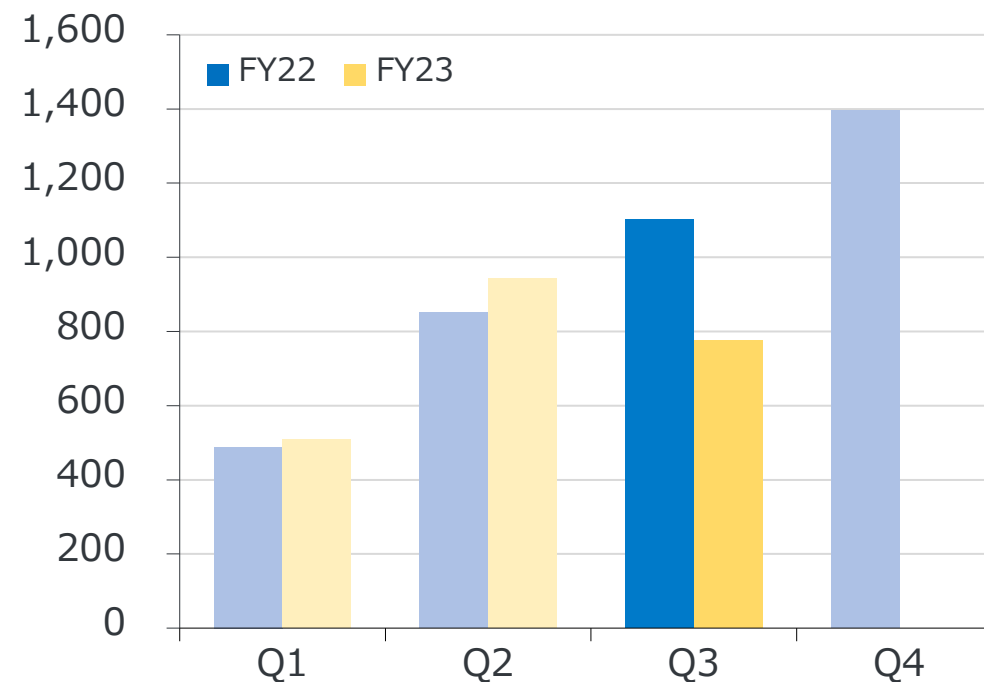
RFID

FY23累計 前年比：33.3%増



自動化*

FY23累計 前年比：8.7%減



※ 自動化は、ハードウェア、ソフトウェアの数字（サプライ、保守は除く）

RFID/自動化ソリューション売上高 推移

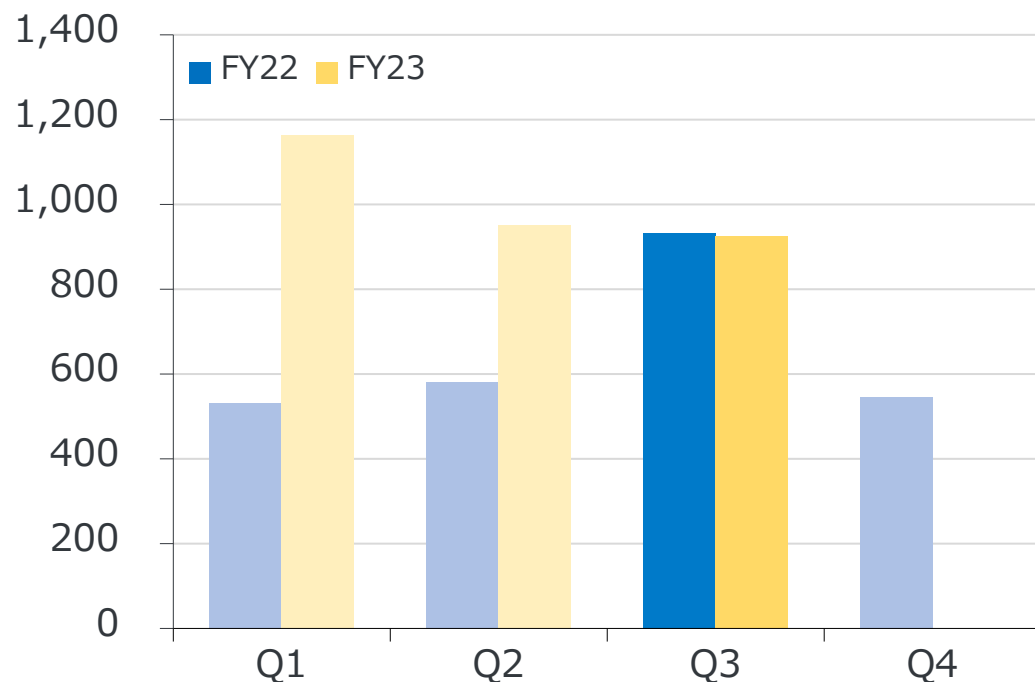
Q3
10~12月

人手不足やDX化への対応などを背景に需要は堅調。
RFIDは、マニュ市場が伸長も、前年同期の大口案件の反動減でトータル横ばい。
自動化は、景気後退影響により減少

(単位：百万円)

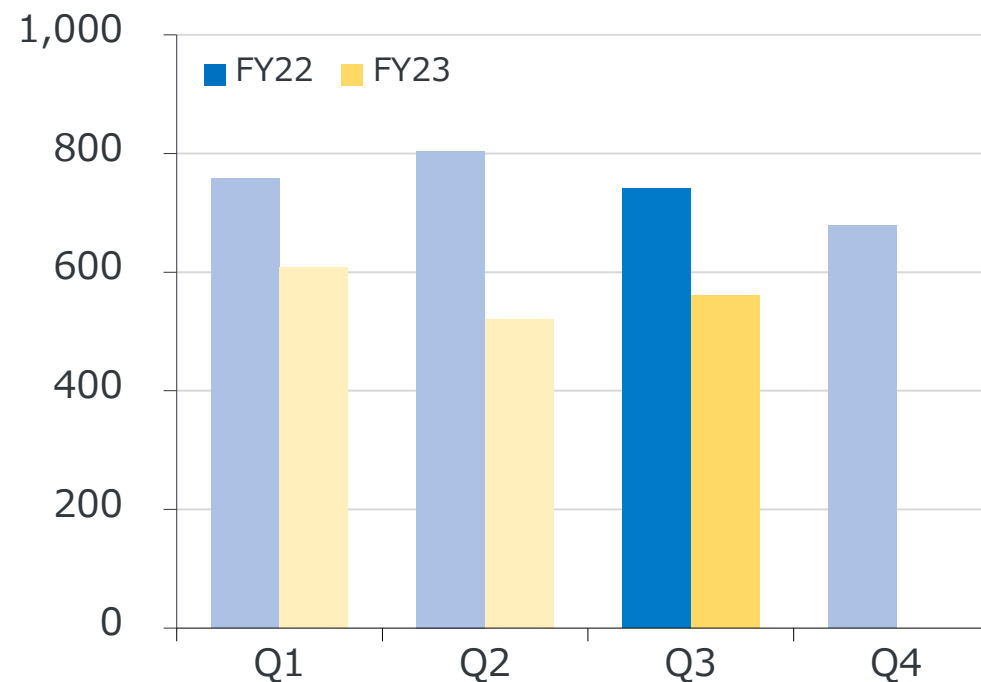
RFID

FY23累計 前年比：48.5%増



自動化[※]

FY23累計 前年比：26.7%減



※ 自動化はハードウェアのみ

2023年度 業績計画

(単位：百万円)

	Q3累計		Q4		通期			
	実績	前年比	修正後計画 2024年2月9日時点	前年比	修正後計画 2024年2月9日時点	前回計画 2023年11月9日時点	増減	前年比
売上高	107,415	-0.8%	36,584	+6.1%	144,000	144,000	+0	+0.8%
営業利益	8,087	+14.2%	1,812	+2.9%	9,900	9,500	+400	+12.0%
経常利益	7,767	+1.2%	1,732	+24.5%	9,500	9,100	+400	+4.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,806	-6.1%	793	-185.1%	5,600	5,000	+600	+33.8%

<参考>

EBITDA [※]	13,961	←2022年度通期	15,000	14,600	+400	+7.4%
---------------------	--------	-----------	--------	--------	------	-------

※ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

FY23 想定レート (期中平均) : 143円/USD, 155円/EUR (期初 : 130円/USD, 140円/EUR)

FY23 Q3為替レート(期中平均) : 143.32円/USD, 155.32円/EUR

FY22 通期為替レート (期中平均) : 135.49円/USD, 140.98円/EUR

2023年度 業績計画 <内訳>

(単位：百万円)

		Q3累計		Q4		通期			
		実績	前年比	修正後計画	前年比	修正後計画	前回計画	増減	前年比
				2024年2月9日時点		2024年2月9日時点	2023年11月9日時点		
海外	売上高	51,205	-4.3%	16,794	+10.8%	68,000	68,000	+0	-1.0%
	営業利益	7,005	+23.6%	994	-31.2%	8,000	7,500	+500	+12.5%
日本	売上高	56,209	+2.5%	19,790	+2.3%	76,000	76,000	+0	+2.5%
	営業利益	823	-59.7%	876	+47.4%	1,700	1,700	+0	-35.5%
(利益消去)	営業利益	258	-	-58	-	200	300	-100	-
連結	売上高	107,415	-0.8%	36,584	+6.1%	144,000	144,000	+0	+0.8%
	営業利益	8,087	+14.2%	1,812	+2.9%	9,900	9,500	+400	+12.0%
<参考> ロシア 子会社	売上	12,224	-12.2%	2,775	-25.8%	15,000	15,000	+0	-15.1%
	営業利益 (のれん償却前)	3,050	+20.2%	449	-55.3%	3,500	3,500	+0	-1.2%

Appendix

補足資料 P.21~P.41

用語集 P.42~P.45

事業セグメント別売上高及び営業利益

(単位：百万円)

※表内下段の（）内数値：ロシア子会社を除外

		FY2023 Q3累計	FY2022 Q3累計	前年比		
				前年比	除く為替	
自動認識 ソリューション事業	売上高	107,415 (95,190)	108,334 (94,408)	-0.8% (+0.8%)	+3.1% (+0.5%)	
	営業利益	7,829 (4,778)	7,709 (5,170)	+1.6% (-7.6%)	+24.7% (+4.8%)	
	海外	売上高	51,205 (38,981)	53,504 (39,578)	-4.3% (-1.5%)	+3.7% (-2.2%)
		営業利益	7,005 (3,955)	5,666 (3,128)	+23.6% (+26.4%)	+55.5% (+47.7%)
	日本	売上高	56,209	54,829	+2.5%	+2.5%
		営業利益	823	2,042	-59.7%	-60.9%
連結（消去後）		107,415 (95,190)	108,334 (94,408)	-0.8% (+0.8%)	+3.1% (+0.5%)	
		8,087 (5,037)	7,081 (4,542)	+14.2% (+10.9%)	+39.4% (+25.0%)	

業績

(単位：百万円)

	FY2023	FY2022	
	Q3累計	Q3累計	増減 前年比
売上高	107,415 (95,190)	108,334 (94,408)	-919 (+781) -0.8% (+0.8%)
営業利益	8,087 (5,037)	7,081 (4,542)	+1,006 (+494) +14.2% (+10.9%)
営業利益率	7.5% (5.3%)	6.5% (4.8%)	+1.0pt (+0.5pt) - -
経常利益	7,767 (5,006)	7,676 (4,528)	+90 (+478) +1.2% (+10.6%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,806 (3,116)	5,116 (3,211)	-310 (-94) -6.1% (-2.9%)
実効税率	21.3%	23.6%	-2.3pt -
EBITDA [※]	11,822 (8,402)	10,991 (7,893)	+831 (+508) +7.6% (+6.4%)

FY23 Q3累計 為替レート (期中平均) : 143.32円/USD, 155.32円/EUR (FY22 Q3累計 同為替レート : 136.49円/USD, 140.60円/EUR)
 為替感応度 : すべての通貨が1円/USDの円安に連動した場合、売上高+504百万円、営業利益+30百万円 (FY23通期ベース)

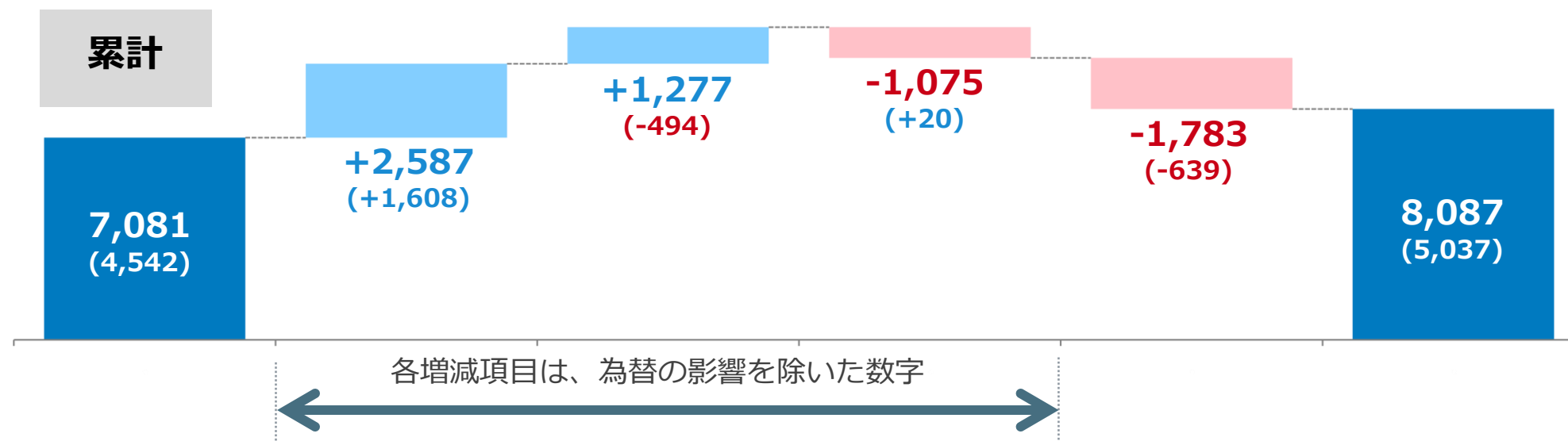
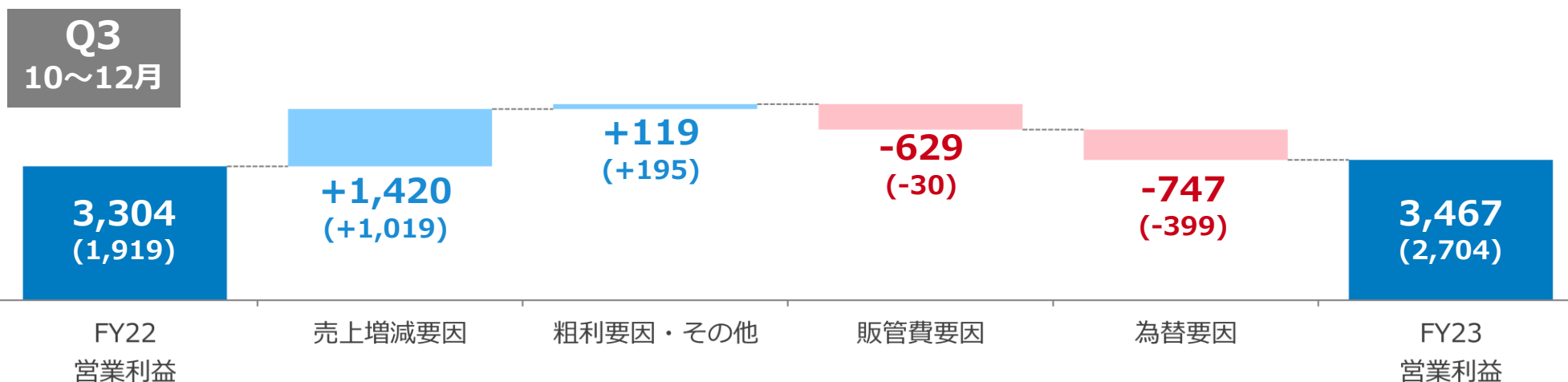
※ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費
 ・減価償却 FY23 Q3累計 : 3,625百万円 (3,256百万円)
 ・のれん償却 FY23 Q3累計 : 109百万円 (109百万円)

FY22 Q3累計 : 3,672百万円 (3,113百万円)
 FY22 Q3累計 : 237百万円 (237百万円)

※表内下段の () 内数値 : ロシア子会社を除外

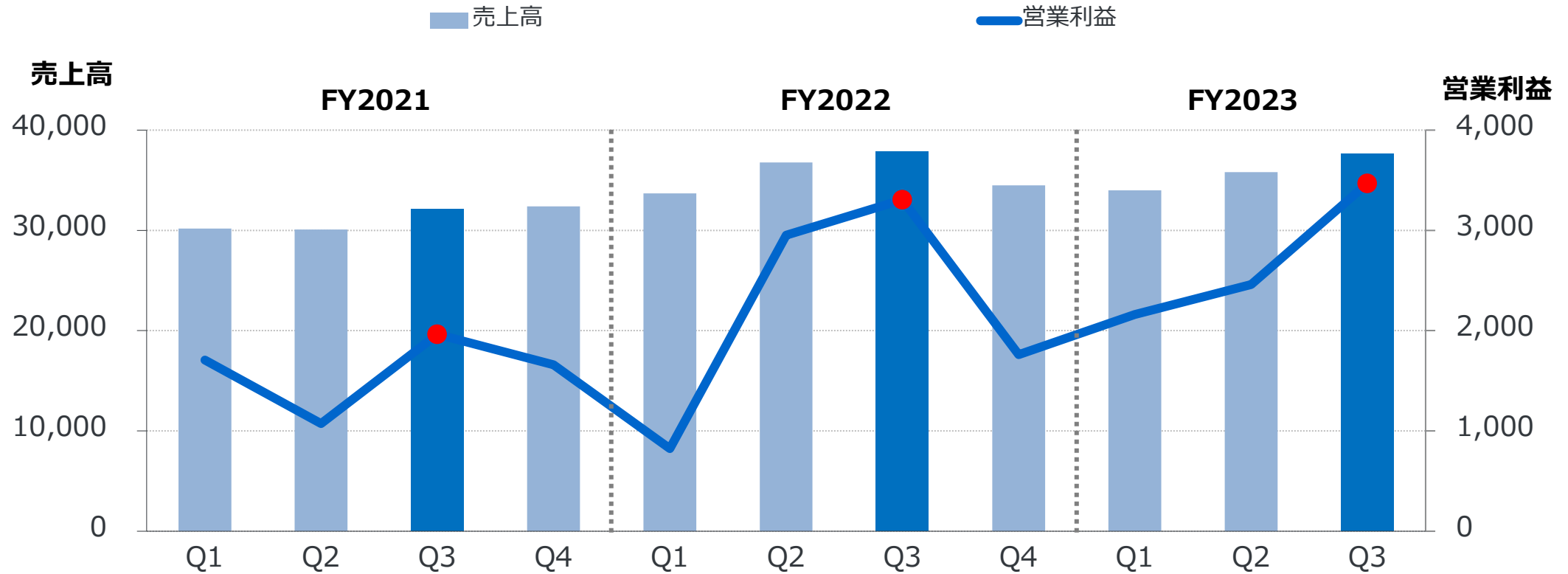
営業利益 前年との比較

(単位：百万円)



売上高・営業利益 推移

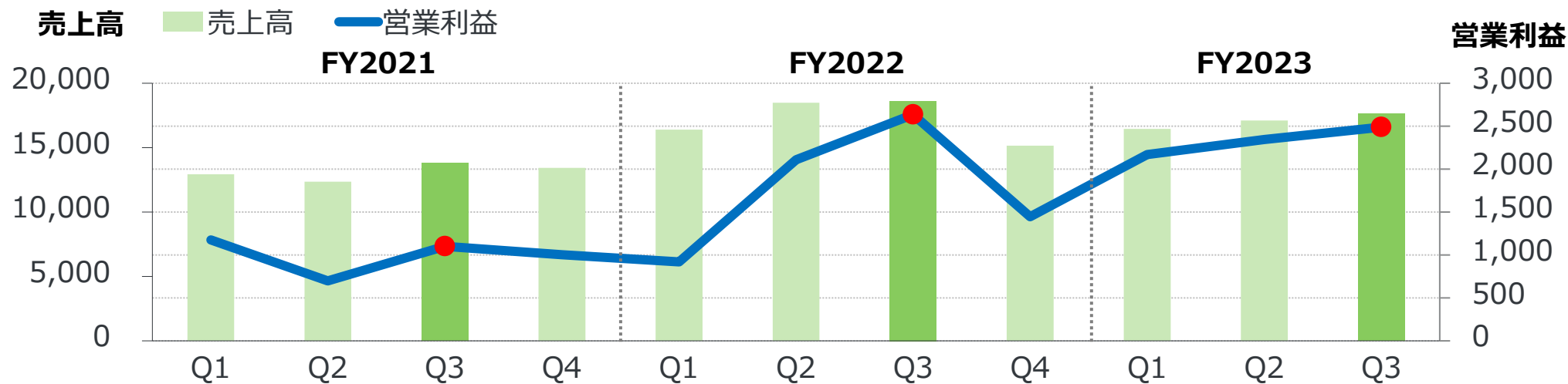
(単位：百万円)



売上高	30,177	30,084	32,126	32,395	33,686	36,777	37,871	34,489	33,989	35,797	37,628
前年比	+27.6%	+14.7%	+9.3%	+8.8%	+11.6%	+22.2%	+17.9%	+6.5%	+0.9%	-2.7%	-0.6%
営業利益	1,706	1,073	1,963	1,660	824	2,951	3,304	1,760	2,160	2,460	3,467
前年比	4.4倍	-1.0%	-14.9%	-19.8%	-51.7%	2.7倍	+68.3%	+6.0%	2.6倍	-16.6%	+4.9%

売上高・営業利益 推移

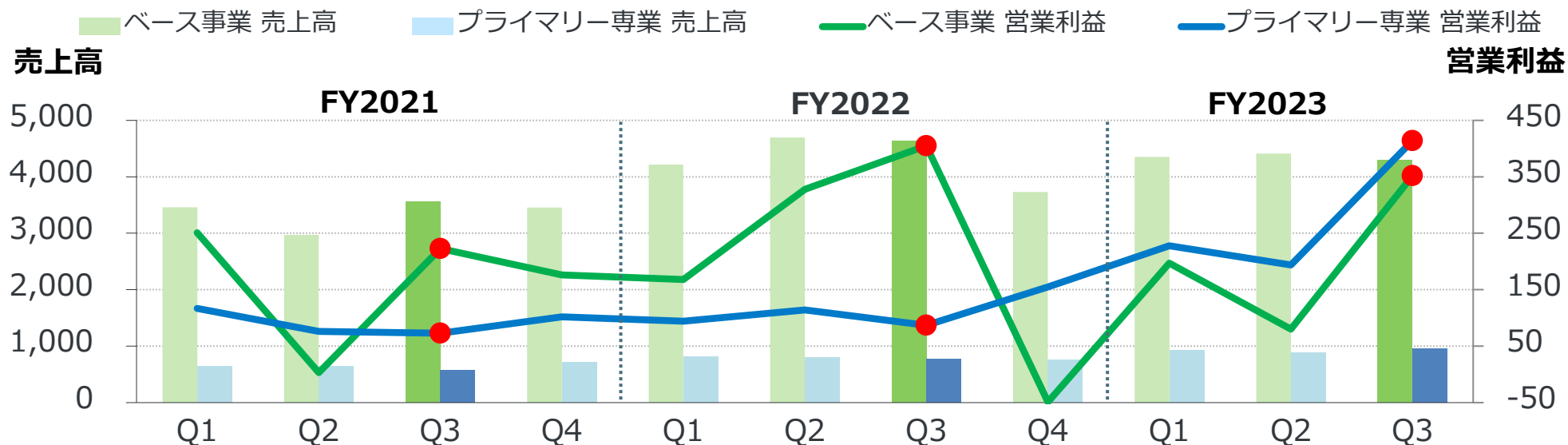
（単位：百万円）



売上高	12,929	12,354	13,788	13,423	16,394	18,483	18,626	15,153	16,452	17,104	17,648
前年比	+64.8%	+21.5%	+24.8%	+18.9%	+26.8%	+49.6%	+35.1%	+12.9%	+0.4%	-7.5%	-5.3%
営業利益	1,175	698	1,101	1,003	919	2,109	2,637	1,445	2,169	2,346	2,490
前年比	15.1倍	+2.2%	+5.6%	+14.0%	-21.8%	3.0倍	2.4倍	+44.0%	2.4倍	+11.2%	-5.6%

米州 売上高・営業利益 推移

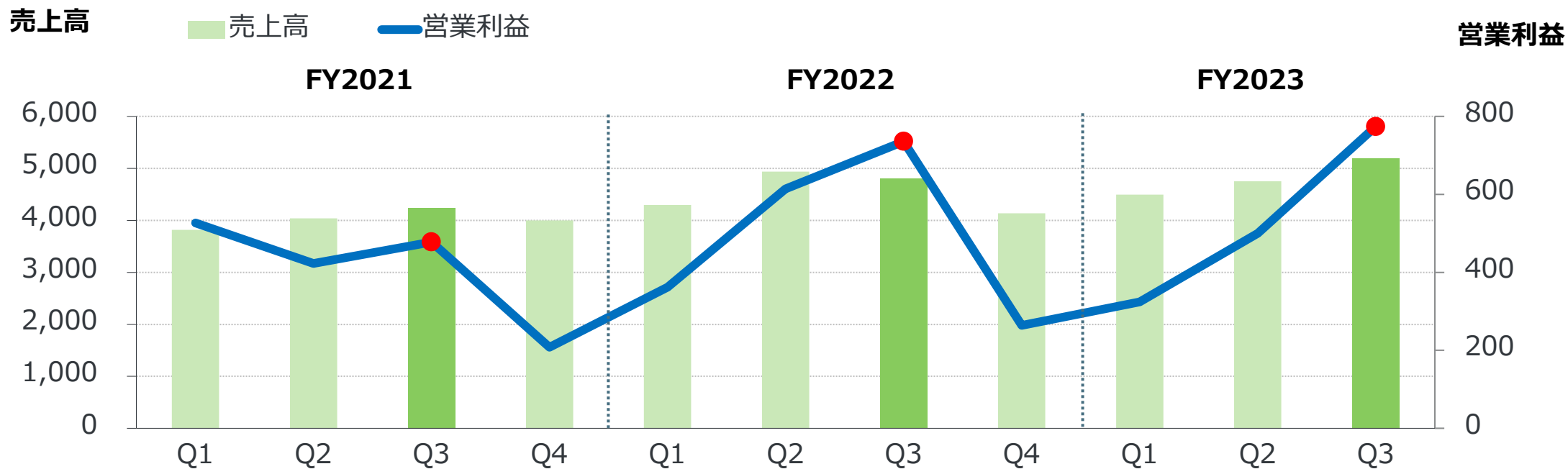
(単位：百万円)



		FY2021				FY2022				FY2023		
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
ベース	売上高	3,458	2,970	3,554	3,456	4,214	4,694	4,626	3,731	4,353	4,412	4,293
	前年比	+94.2%	+11.6%	+27.2%	+10.1%	+21.8%	+58.1%	+30.2%	+8.0%	+3.3%	-6.0%	-7.2%
	営業利益	251	3	223	176	168	328	405	-49	197	80	352
	前年比	-	-97.8%	-3.6%	+13.1%	-32.9%	87.3倍	+81.1%	-	+17.0%	-75.5%	-13.1%
プライマリー	売上高	648	643	576	717	821	806	769	752	924	885	954
	前年比	+71.4%	+29.2%	+0.8%	+24.6%	+26.6%	+25.3%	+33.4%	+4.8%	+12.6%	+9.8%	+24.2%
	営業利益	117	76	73	102	94	114	87	155	228	194	414
	前年比	45.9倍	+4.7%	-18.0%	+9.2%	-19.0%	+50.2%	+18.7%	+51.9%	2.4倍	+70.2%	4.7倍

アジア・オセアニア 売上高・営業利益 推移

(単位：百万円)



ベース	売上高	3,817	4,037	4,238	4,000	4,296	4,938	4,799	4,138	4,495	4,751	5,196
	前年比	+51.5%	+29.5%	+18.8%	+4.2%	+12.5%	+22.3%	+13.2%	+3.5%	+4.6%	-3.8%	+8.3%
	営業利益	527	423	478	208	362	614	736	264	324	500	774
	前年比	5.1倍	2.2倍	+19.2%	-62.6%	-31.2%	+44.9%	+53.9%	+26.9%	-10.7%	-18.5%	+5.1%

地域別売上高及び営業利益構成

(単位：百万円)

■ 日本 ■ 米州 ■ 欧州 ■ アジア・オセアニア

売上高

108,334

FY22



107,415

FY23



営業利益

※ 割合は消去を除く

7,709

FY22



7,829

FY23

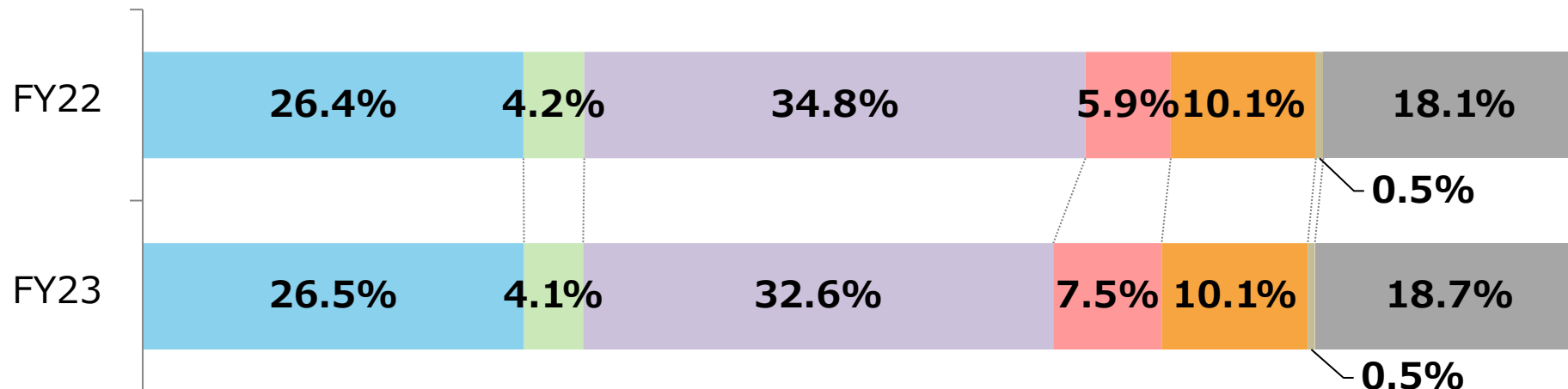


営業利益率 FY22 日本：3.7%、海外：10.6%
 FY23 日本：1.5%、海外：13.7%

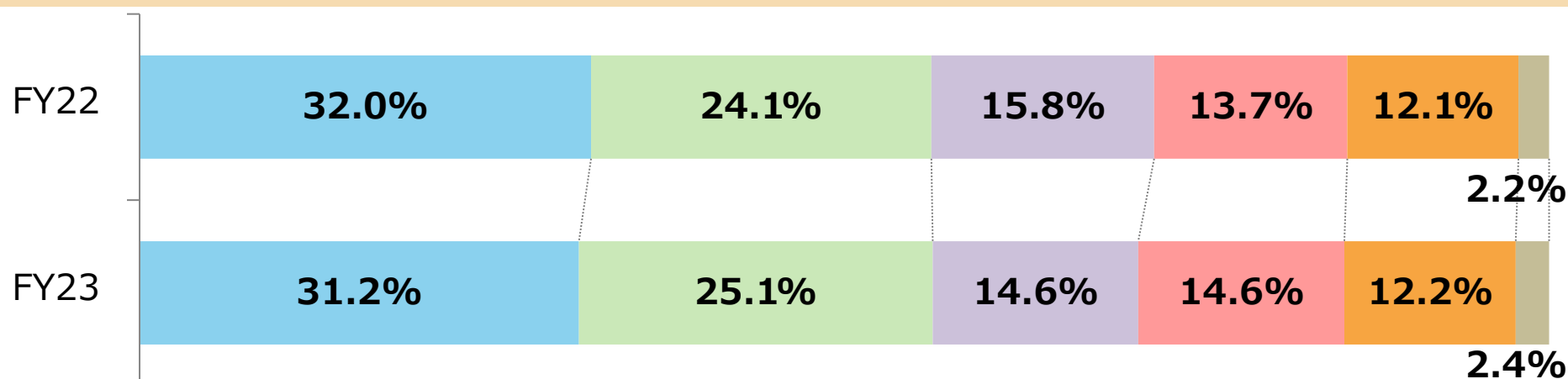
市場別売上高構成

■ マニュファクチャリング
 ■ ロジスティクス
 ■ リテール
 ■ ヘルスケア
 ■ フード
 ■ 公共
 ■ その他

海外 *主な販社。工場・プライマリー専門会社は除く



日本 *保守等は除く



※ FY23-Q1より一部業界を公共からロジスティクスに区分を変更。グラフは本変更を遡及して表示

売上高及び営業利益構成（事業別・地域別）

（単位：百万円）

■ ベース ■ プライマリー

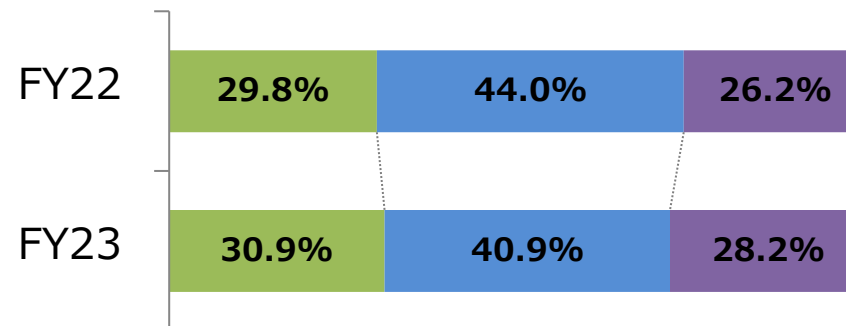
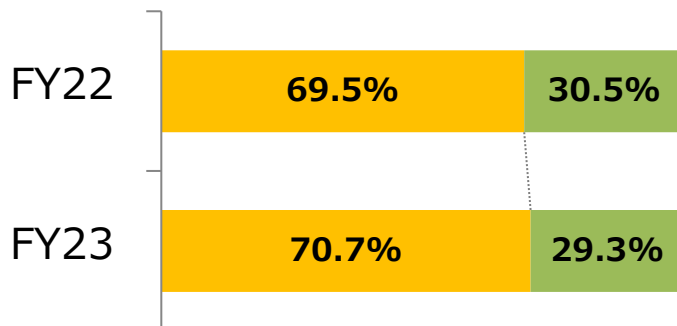
■ 米州 ■ 欧州 ■ アジア・オセアニア

売上高

53,504



51,205



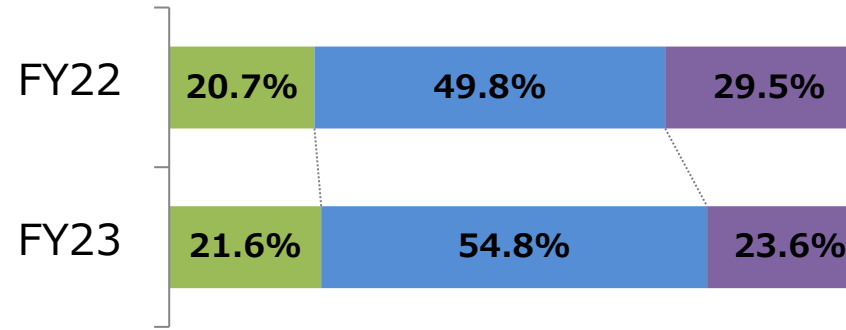
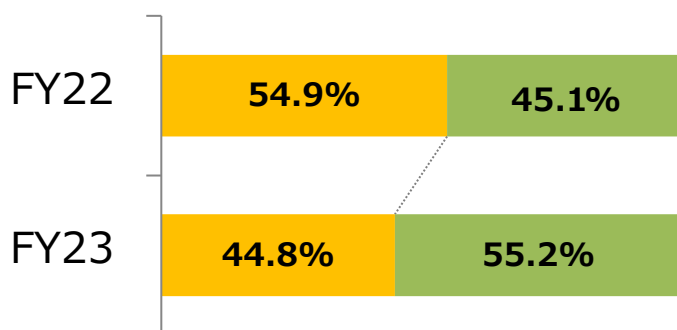
営業利益

※ 割合は消去を除く

5,666



7,005



営業利益率：

FY22 ベース：8.6%、プライマリー：16.0%

FY23 ベース：8.4%、プライマリー：25.0%

FY22 米州：7.5%、欧州：12.3%、
アジア・オセアニア：12.2%

FY23 米州：9.3%、欧州：17.8%、
アジア・オセアニア：11.1%

事業別内訳

(単位：百万円)

		FY2023	FY2022	増減	増減	
		Q3	Q3		前年比	除く為替
ベース事業	売上高	12,498	12,574	-76	-0.6%	-4.3%
	営業利益	1,345	1,338	+6	+0.5%	+2.0%
プライマリー專業	売上高	5,150 (954)	6,051 (769)	-901 (+185)	-14.9% (+24.2%)	+23.2% (+85.1%)
	営業利益	1,131 (369)	1,398 (13)	-266 (+355)	-19.1% (27.5倍)	+34.5% (46.3倍)
消去	営業利益	12 (12)	-99 (-99)	+112 (+112)	-	-
合計	売上高	17,648 (13,453)	18,626 (13,343)	-978 (+109)	-5.3% (+0.8%)	+4.7% (+1.2%)
	営業利益	2,490 (1,727)	2,637 (1,252)	-147 (+474)	-5.6% (+37.9%)	+23.6% (+71.6%)

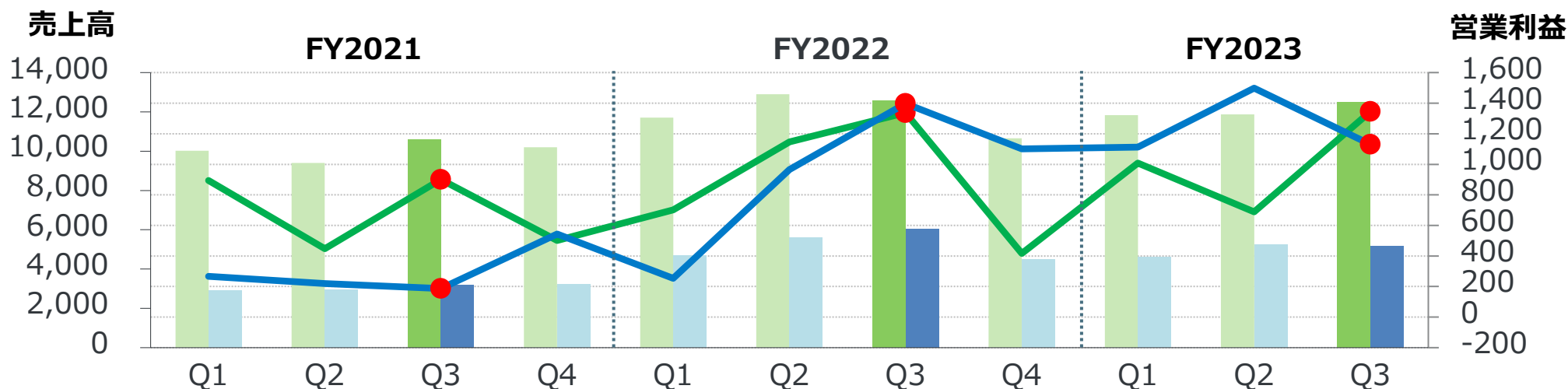
		FY2023	FY2022	増減	増減	
		累計	累計		前年比	除く為替
ベース事業	売上高	36,216	37,181	-965	-2.6%	-6.5%
	営業利益	3,043	3,187	-144	-4.5%	-4.4%
プライマリー專業	売上高	14,989 (2,764)	16,322 (2,396)	-1,333 (+368)	-8.2% (+15.4%)	+27.0% (+58.7%)
	営業利益	3,744 (694)	2,618 (80)	+1,125 (+614)	+43.0% (8.7倍)	2.1倍 (13.9倍)
消去	営業利益	217 (217)	-139 (-139)	+357 (+357)	-	-
合計	売上高	51,205 (38,981)	53,504 (39,578)	-2,298 (-597)	-4.3% (-1.5%)	+3.7% (-2.2%)
	営業利益	7,005 (3,955)	5,666 (3,128)	+1,338 (+827)	+23.6% (+26.4%)	+55.5% (+47.7%)

※表内下段の（）内数値：ロシア子会社を除外

事業別 売上高・営業利益 推移

（単位：百万円）

■ ベース事業 売上高 ■ プライマリー専業 売上高 ■ ベース事業 営業利益 ■ プライマリー専業 営業利益



		FY2021				FY2022				FY2023		
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
ベース	売上高	10,023	9,399	10,578	10,206	11,706	12,901	12,574	10,659	11,840	11,877	12,498
	前年比	+74.2%	+20.8%	+24.5%	+13.7%	+16.8%	+37.2%	+18.9%	+4.4%	+1.2%	-7.9%	-0.6%
	営業利益	894	447	900	502	701	1,147	1,338	416	1,008	689	1,345
	前年比	-	+5.8%	+23.7%	-31.5%	-21.5%	2.6倍	+48.7%	-17.2%	+43.7%	-39.9%	+0.5%
プライマリー	売上高	2,905	2,955	3,209	3,217	4,688	5,582	6,051	4,493	4,612	5,226	5,150
	前年比	+39.1%	+23.7%	+26.1%	+39.0%	+61.4%	+88.9%	+88.6%	+39.7%	-1.6%	-6.4%	-14.9%
	営業利益	266	220	186	544	254	966	1,398	1,101	1,113	1,499	1,131
	前年比	2.6倍	-10.1%	-31.0%	3.9倍	-4.6%	4.4倍	7.5倍	2.0倍	4.4倍	+55.2%	-19.1%

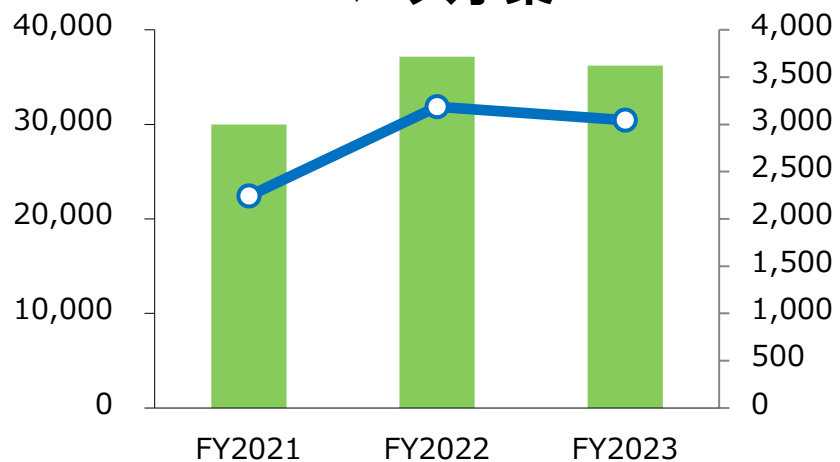
事業別及び地域別売上高及び営業利益推移

事業別

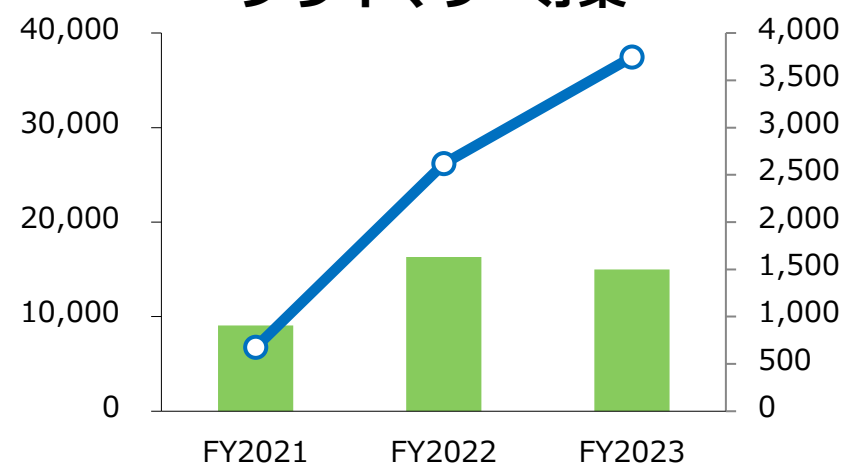
売上高 営業利益

(単位：百万円、左軸：売上高、右軸：営業利益)

ベース事業

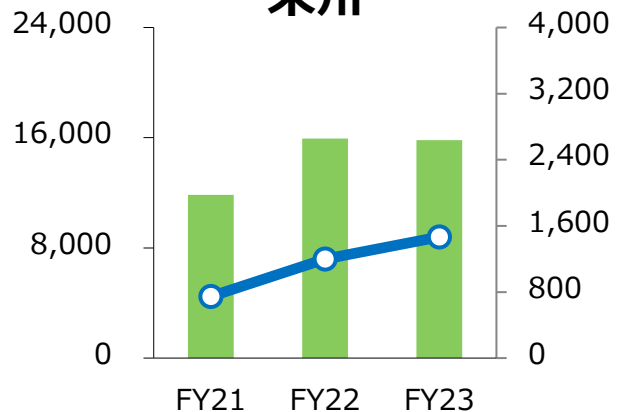


プライマリー専業

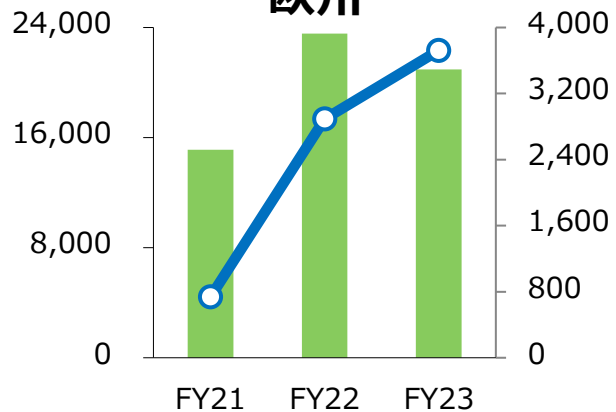


地域別

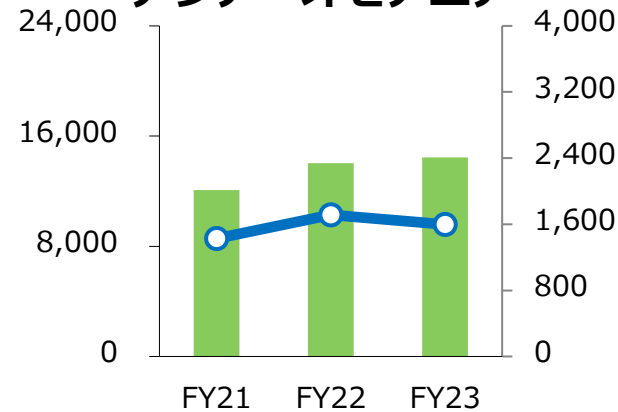
米州



欧州

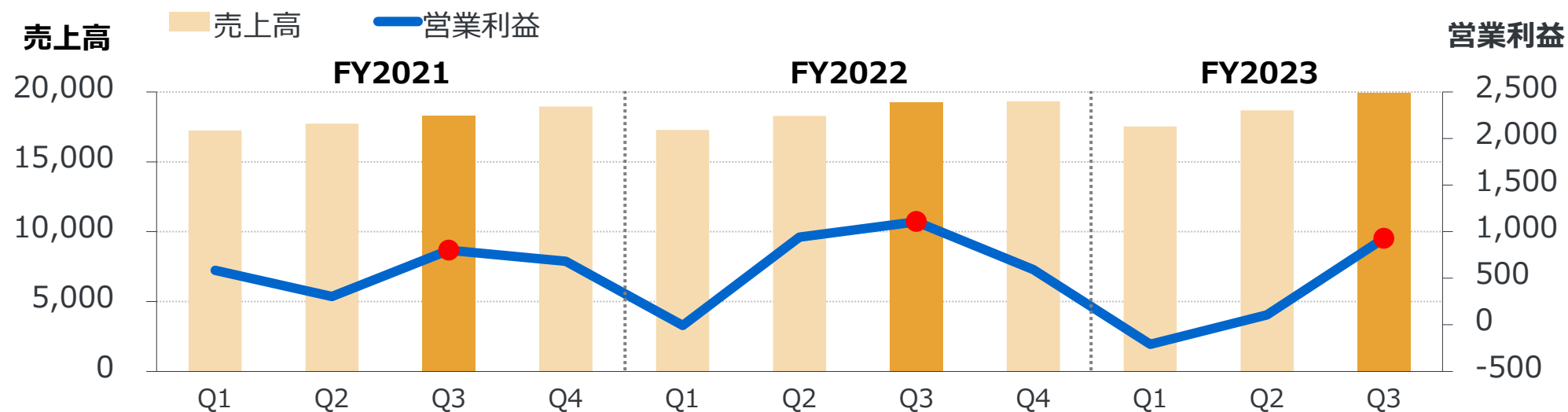


アジア・オセアニア



売上高・営業利益 推移

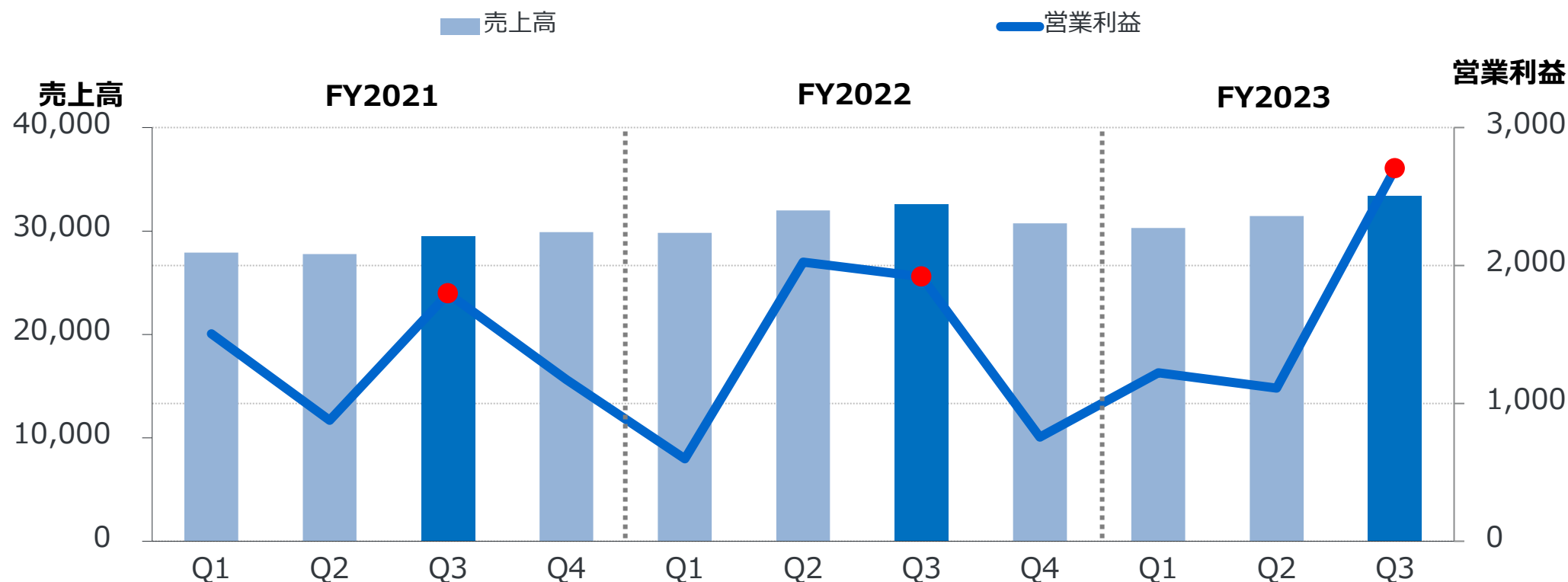
（単位：百万円）



売上高	17,248	17,729	18,337	18,971	17,291	18,294	19,244	19,336	17,536	18,692	19,980
前年比	+9.6%	+10.9%	-0.1%	+2.6%	+0.2%	+3.2%	+4.9%	+1.9%	+1.4%	+2.2%	+3.8%
営業利益	585	303	801	682	-8	941	1,108	594	-210	106	927
前年比	+46.7%	-32.4%	-31.5%	-43.3%	-	3.1倍	+38.3%	-12.8%	-	-88.7%	-16.4%

売上高・営業利益 推移（ロシア子会社を除外）

(単位：百万円)



	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
売上高	27,920	27,772	29,493	29,895	29,818	32,001	32,588	30,748	30,301	31,455	33,433
前年比	+27.3%	+14.2%	+7.5%	+6.6%	+6.8%	+15.2%	+10.5%	+2.9%	+1.6%	-1.7%	+2.6%
営業利益	1,505	877	1,797	1,172	598	2,024	1,919	755	1,222	1,110	2,704
前年比	6.5倍	+2.2%	-13.4%	-40.6%	-60.2%	2.3倍	+6.8%	-35.6%	2.0倍	-45.1%	+40.9%

地域別売上高及び営業利益構成（ロシア子会社を除外）

(単位：百万円)

■ 日本 ■ 米州 ■ 欧州 ■ アジア・オセアニア

売上高

94,408

FY22



95,190

FY23

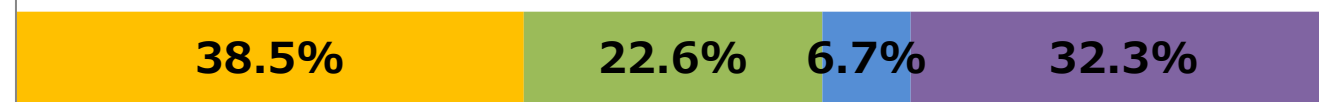


営業利益

※ 割合は消去を除く

5,170

FY22



4,778

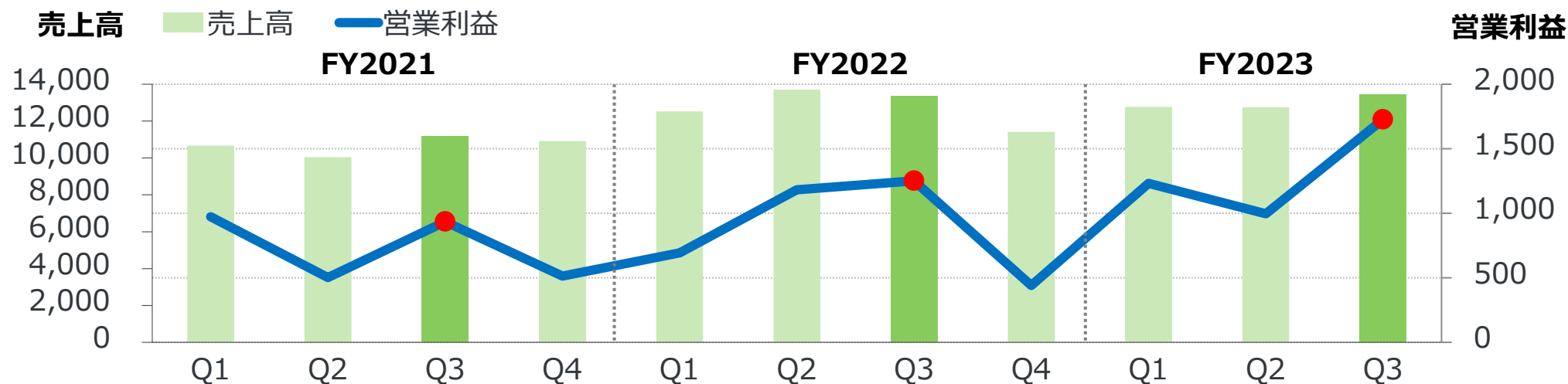
FY23



営業利益率 FY22 日本：3.7%、海外：7.9%
 FY23 日本：1.5%、海外：10.1%

売上高・営業利益 推移（ロシア子会社を除外）

（単位：百万円）



売上高	10,672	10,043	11,155	10,924	12,527	13,707	13,343	11,411	12,765	12,762	13,453
前年比	+74.0%	+21.3%	+23.0%	+14.4%	+17.4%	+36.5%	+19.6%	+4.5%	+1.9%	-6.9%	+0.8%
営業利益	974	502	935	514	693	1,182	1,252	440	1,231	996	1,727
前年比	-	+9.7%	+15.2%	-34.3%	-28.8%	2.4倍	+33.9%	-14.5%	+77.6%	-15.7%	+37.9%

売上高及び営業利益構成（事業別・地域別）（ロシア子会社を除外）

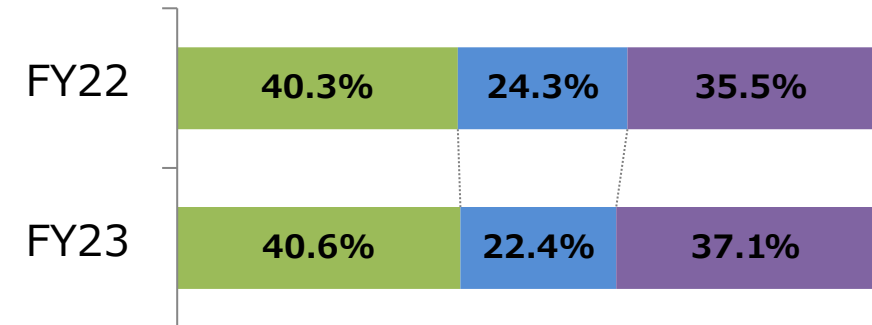
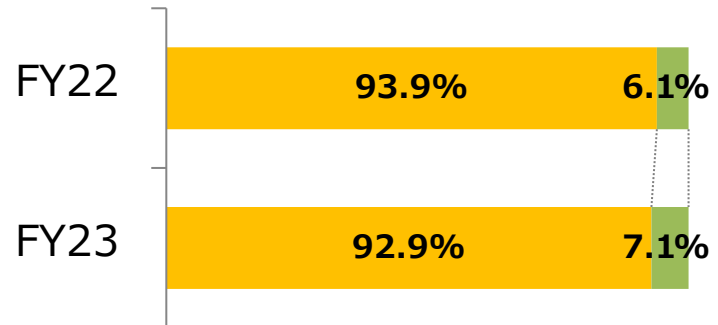
（単位：百万円）

■ ベース ■ プライマリー ■ 米州 ■ 欧州 ■ アジア・オセアニア

売上高

39,578

38,981

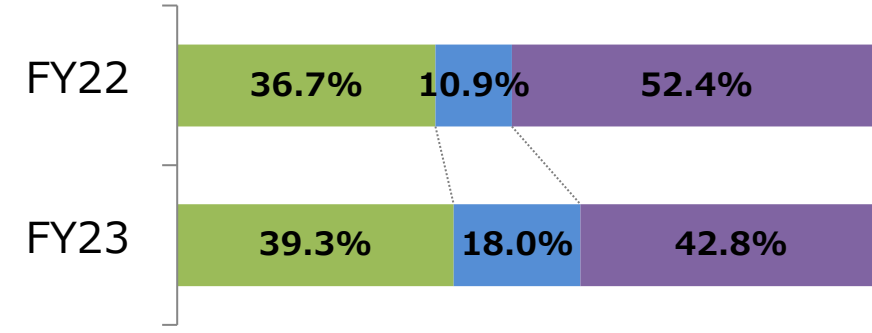
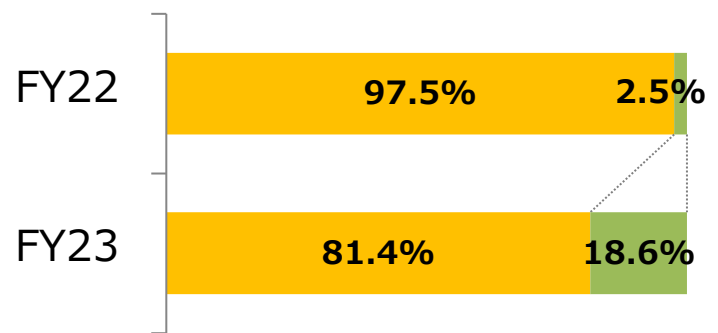


営業利益

※ 割合は消去を除く

3,128

3,955



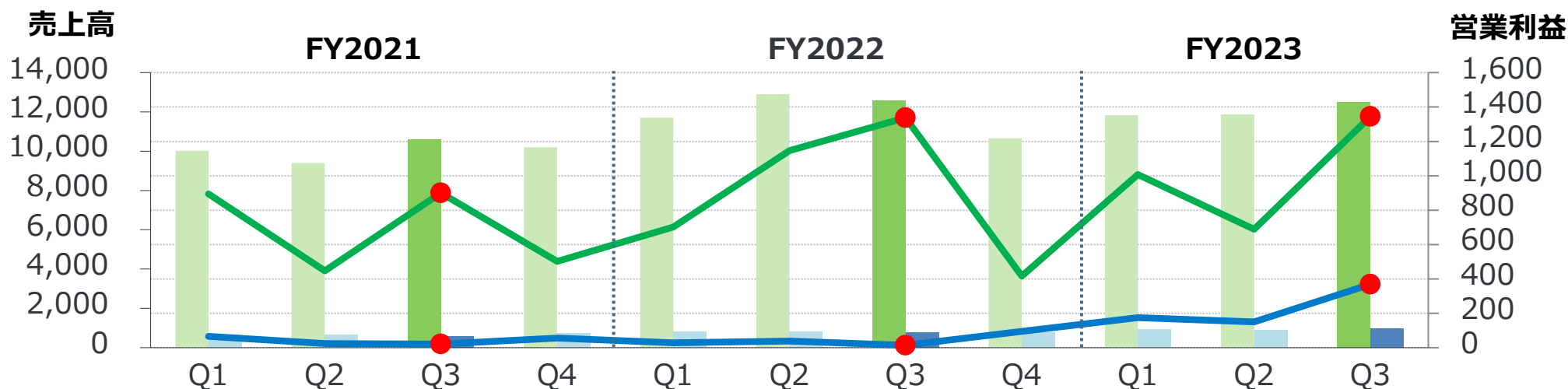
営業利益率：

FY22 ベース：8.6%、プライマリー：3.3%
 FY23 ベース：8.4%、プライマリー：25.1%

FY22 米州：7.5%、欧州：3.7%、
 アジア・オセアニア：12.2%
 FY23 米州：9.3%、欧州：7.7%、
 アジア・オセアニア：11.1%

事業別 売上高・営業利益 推移（ロシア子会社を除外） （単位：百万円）

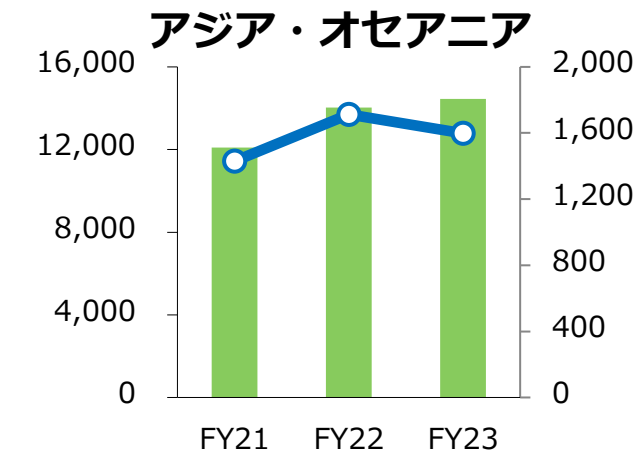
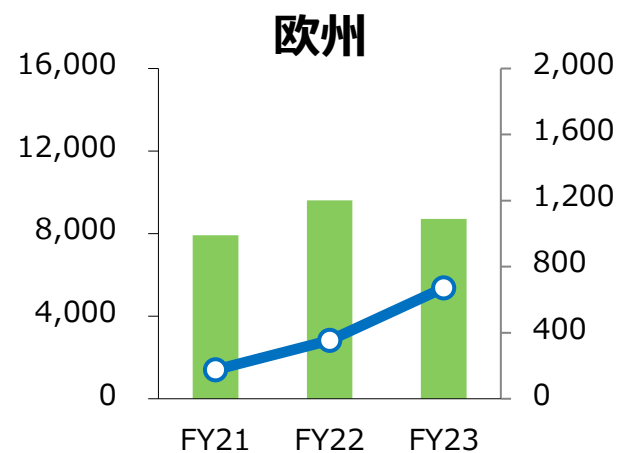
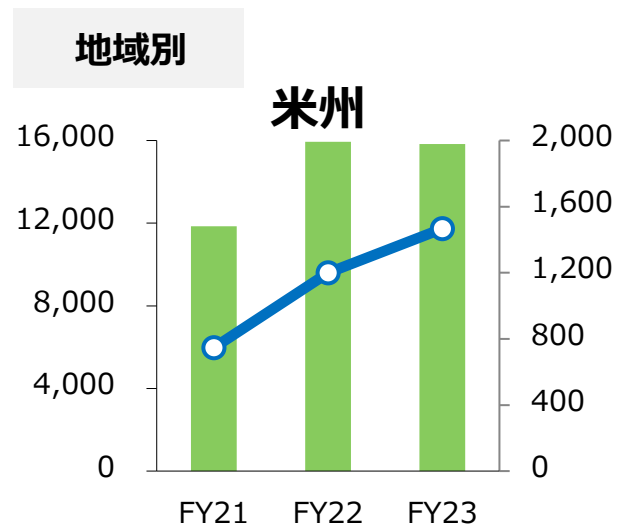
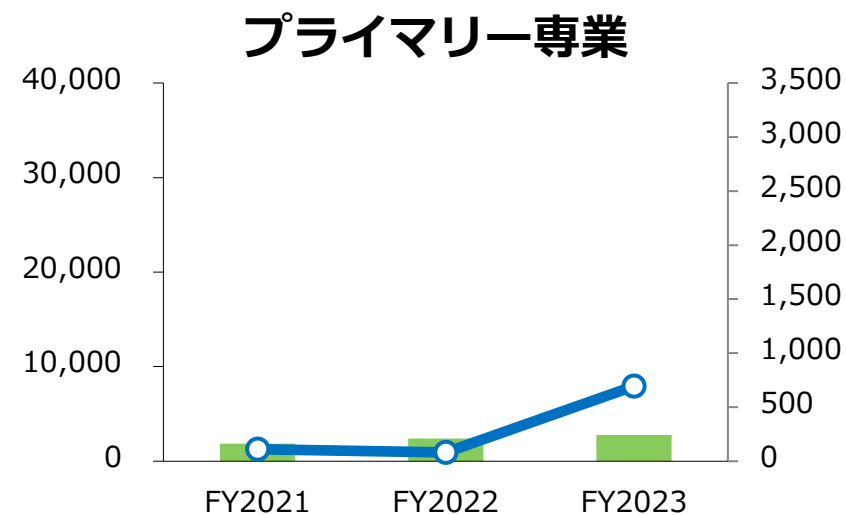
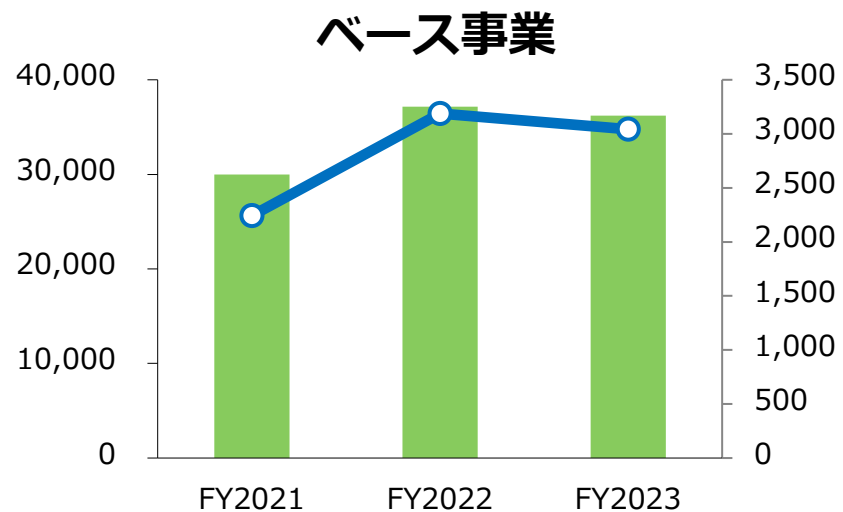
■ ベース事業 売上高 ■ プライマリー専業 売上高 ■ ベース事業 営業利益 ■ プライマリー専業 営業利益



	項目	FY2021				FY2022				FY2023		
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
ベース	売上高	10,023	9,399	10,578	10,206	11,706	12,901	12,574	10,659	11,840	11,877	12,498
	前年比	+74.2%	+20.8%	+24.5%	+13.7%	+16.8%	+37.2%	+18.9%	+4.4%	+1.2%	-7.9%	-0.6%
	営業利益	894	447	900	502	701	1,147	1,338	416	1,008	689	1,345
	前年比	-	+5.8%	+23.7%	-31.5%	-21.5%	2.6倍	+48.7%	-17.2%	+43.7%	-39.9%	+0.5%
プライマリー	売上高	648	643	576	717	821	806	769	752	924	885	954
	前年比	+71.4%	+29.2%	+0.8%	+24.6%	+26.6%	+25.3%	+33.4%	+4.8%	+12.6%	+9.8%	+24.2%
	営業利益	65	24	20	55	28	38	13	95	174	150	369
	前年比	-	+25.0%	-48.2%	+29.2%	-56.7%	+56.7%	-33.7%	+71.4%	6.2倍	3.9倍	27.5倍

事業別及び地域別売上高及び営業利益推移（ロシア子会社を除外）

売上高
 —○— 営業利益
 （単位：百万円、左軸：売上高、右軸：営業利益）



用語集 (1/4)

サトー独自のコンセプト/取り組み		説明 ※
1	自動認識ソリューション事業	DCS & Labelingを展開。具体的には、お客さまの課題に基づいて自社で開発・製造したバーコードプリンタやラベル、自社で設計したソフトウェアやサービス、外部パートナーの技術や商品などを組み合わせて提供。本事業は海外と日本に区分され、海外はベース事業とプライマリー專業から構成される。
2	ベース事業	バーコードや商品価格、製造年月日、消費期限など可変情報をタギングするビジネス。
3	プライマリー專業	商品ラベルなどの固定情報ラベルをタギングするビジネス。Achernar（アルゼンチン）、Prakolar（ブラジル）、Okil（ロシア）、X-Pack（ロシア）の4社からなる。
4	IDP事業	IDP (Inline Digital Printing) に関わる開発・製造・販売。2020年9月、本事業を推進していた連結子会社DataLase Ltd.の全株式をDataLase Holdings Ltd.に譲渡。 IDPとは、感熱顔料を含む塗料をさまざまな基材に塗布し、レーザー照射による発色でダイレクト印字ができる印刷技術。
5	コト売り	商品の単品売りではなくハードウェアやサプライ、保守サービス、ソフトウェア等を組み合わせたソリューションを、ROIの提示を含めて提案する売り方。単品売りの「モノ売り」に対する概念。
6	タギング	お客さまの現場でモノやヒトにIDや状態などの情報を物理的にひも付けし、それを上位システムに受け渡すこと。すなわち現物と情報を一致させ、デジタル化された情報を活用できるようにする作業。 この「現物と情報の一致」は、商品に価格等の情報をひも付けするハンドラベラーの時代から続くサトーの事業コンセプト。
7	DCS & Labeling (DCS: Data Collection Systems)	バーコードやRFIDなどの自動認識技術とプリンタやラベルなどの商品・サービスを活用して、さまざまな現場にある人やモノの情報 (= Data) を正確かつ効率的に収集 (= Collection) する仕組み (= Systems) と、情報を最適な形でひも付けするタギング (含むLabeling) を提供するサトーグループのビジネスモデル。 また、お客さま課題の高度化を受けて、オープンなイノベーションやパートナーシップを活用し、本ビジネスモデルに画像認識・音声認識や位置測位技術、センサーなど、新たな技術を組み合わせることで、お客さま課題の解決手法をさらに向上させている。

※下線付き用語は別途説明項目あり

用語集 (2/4)

サトー独自のコンセプト/取り組み (続き)		説明
8	Tagging for Sustainability	DCS & Labelingと同様にタギングを核としながらも、ラベルにとどまらないさまざまな技術・手法を取り入れた、高度化したタギングでお客様の経営課題や社会課題を解決し、持続可能な世界への貢献をめざすDCS & Labelingを進化させたビジネスモデル。
9	現場力	さまざまな市場・業界のお客様の現場と向き合い、運用を理解し、課題の本質を捉えて最適な解決策を提供する力。カバレッジ(現場を知ることで蓄積された幅広い「市場×業界×用途」の課題へ対応する力)、インテグレーション(戦略パートナーとの共創に基づき、商品・サービス・技術を統合して提供する力)、メンテナンス(継続的なソリューション提供でお客様の信頼を醸成し、深く、長い関係を構築する力)の3つの要素で構成される。
10	三行提報	社員が現場でキャッチした、会社を良くするための情報やアイデアを約三行(100~150文字)にまとめて、毎日経営トップに直接提出するサトー独自の取り組み。経営トップはいち早く社内外の環境変化を把握し、迅速な意思決定や必要な施策を講じ、社員は経営者と同じ目線で物事を考える「全員参画の経営」に寄与。また経営トップに直接提出することから、不正や不適切な行為などを防ぐモニタリングとしての役割も担っており、コーポレートガバナンスの面においても効果を発揮。 1976年から始まり、近年は海外拠点の導入も増えている。
商品・サービス・技術		説明
1	メカトロ商品	プリンタやラベル自動貼付機器、スキャナ、ハンドラベラーなどのハードウェア、ソフトウェア、保守サポートなど、 <u>サプライ商品</u> 以外のすべて。粗利率は <u>サプライ商品</u> よりも高い。プリンタはマレーシア、ベトナムおよび台湾にて製造。
2	サプライ商品	<u>可変情報ラベル</u> 、 <u>RFIDタグ</u> 、 <u>プライマリーラベル</u> (商品シール)、リボンなどの消耗品。粗利率は <u>メカトロ商品</u> よりも低い。が、リピートビジネスのため販売管理費率は小さい。

用語集 (3/4)

商品・サービス名・技術 (続き)		説明
3	自動認識ソリューション	DCS & Labelingを実現するための商品・サービス。具体的にはプリンタ、ラベル、ソフトウェア、保守サポートなどの組み合わせ。加えて、近年は複雑化・多様化するお客さま課題に応えるために自前主義に拘らず、パートナーシップを推進することにより実現をめざす。例えば位置測位技術を用いて人・モノの位置情報を取得し、作業人や在庫の動きをリアルタイム捕捉することで、工数・作業時間の見える化や製造工程の進捗管理を実現。
4	SOS (SATO Online Services)	お客さまのプリンタをクラウドに接続して遠隔でモニタリングを行うサービス。これにより予防保守やエラー時の早期復旧が可能となる。またお客さまはプリンタの稼働・活用状況を一覧でき、資産管理が容易となる。一方サトーにとっては、予防保守の実現による保守人員の労働生産性向上や、保守人員が少ない海外におけるサポート向上に寄与。
5	AEP (Application Enabled Printing)	プリンタに内蔵された知能がラベル発行作業を最適化。PCを介さずにプリンタ単体で他のシステムとの連携も可能。
6	可変情報ラベル	バーコードや商品価格、製造年月日、消費期限など、お客さまの現場で必要に応じて変化させる情報を印字する用途のラベル。必要な時に必要な分だけ発行できる点が、固定情報を一度に大量印刷するプライマリーラベル（商品シール）との大きな相違点。
7	RFID (Radio Frequency Identification)	自動認識技術の一つ。電波を利用してデータの読み書きを行い、①複数一括読み取り、②非接触での読み取り、③遮蔽物や汚損があっても可能な読み取り、④情報の書き換え、といったバーコードには無い特性を持つ。これにより、業務効率の飛躍的な向上が可能。
8	バンダマーキング	納品先がバンダーやサプライヤーに対して、商品・製品の納品時に指定の情報を記載したラベルを貼りつけよう依頼する取り組み

用語集 (4/4)

2012年以降に買収した 主な会社		説明
1	Argox Information Co., Ltd. (台湾)	2012年に買収したエントリー・モデルのプリンタの開発・製造・販売子会社。
2	Achernar S.A. (アルゼンチン)	2012年に買収したプライマリ専門子会社。
3	Magellan Technology Pty Ltd. (オーストラリア)	大量のRFIDタグを高速かつ正確に読み取ることができ、金属や液体の影響、および積層状態での読み取りに強いなどの優位性の高いRFID技術「PJM (Phase Jitter Modulation)」を含む同社の事業を2013年に譲り受け、SATO Vicinity Pty Ltd.を設立。
4	Okil-Holding, JSC (ロシア)	2014年に買収したプライマリ専門子会社。サトーホールディングスが75%を保有。同国のX-Packは関連会社。
5	Prakolar Rótulos Autoadesivos LTDA. (ブラジル)	2015年に買収したプライマリ専門子会社。
6	Stafford Press, Inc. (米国)	2023年に買収した花卉用タグ・ラベル（花や植物の品種名や写真が表示された鉢やプランターに付けるタグやラベル）と、それらをオンデマンドでカラー発行するインクジェットプリンタの製造・販売子会社
2017年以降に設立した 海外子会社		説明
1	X-Pack (ロシア)	シュリンクスリーブ、インモールド、軟包装の製造・販売を行い、サトーホールディングスが60%の株式を保有するプライマリ専門子会社。2017年設立。
2	SATO Productivity Solutions Mexico S.A. de C.V. (メキシコ)	自動車産業に焦点を当てて事業を展開し、サトーホールディングスがほぼ100%の株式を保有する販売子会社。2019年設立。

【本資料ご利用にあたっての注意事項】

- 本資料に記載の内容は全て2024年2月現在の情報をもとに作成したものです。
- 本資料に記載の内容は予告なく変更することがあります。
- 本資料で使用される商標、ロゴ、商号に関する権利は、当社またはそれぞれの権利の所有者に帰属します。
- 本資料の内容に関する一切の権利につきましては当社に帰属し、本資料の全部または一部を当社の文書による事前の承諾なしに転載または複製することを固くお断り致します。